

令和3年度公益財団法人せたがや文化財団の経営状況に関する書類の提出

1. 事業計画

世田谷文化生活情報センター / 生活工房		世田谷文化生活情報センター / 音楽事業部	
大平農園と畑のレシピ帖展	(3月2日) ~ 6月27日	シリーズ和・華・調/沖縄伝統芸能	5月29日
安西水丸ポスター展 (世田谷文学館との提携事業)	7月3日 ~ 7月18日	せたがや音楽研究所	9月23日
色覚を考える展 (東京工芸大学との共催事業)	7月24日 ~ 8月29日	世田谷アーティスト支援企画	12月18日
アメリカン・トイズ since 1920s —暮らしと時代を映す玩具展	9月7日 ~ 12月19日	室内楽シリーズ	①11月20日 ②4年3月5日
10代に向けたセミナー「仕事図鑑」	12月4日、5日	せたがやジュニアオーケストラ	通年
紙芝居「未来に伝えるせたがや今ばなし」 原画展	4年1月8日 ~ 3月6日	せたがやまちかど・まちなかコンサート、連携コンサートほか	
朗読講座「豊かなことばの世界」、子どもワークショップ「科学とデザイン」ほか			
世田谷文化生活情報センター / 世田谷パブリックシアター			
芸術監督企画「狂言劇場その九」『法螺侍』『鮎』	6月18日 ~ 27日	小山ゆうな演出作品『愛するとき 死すると』	11月14日 ~ 12月5日
上村聡史演出作品『森 フォレ』	7月6日 ~ 24日	栗山民也演出・瀬戸山美咲劇作『彼女を笑う人がいても』(仮題)	12月4日 ~ 18日
国際共同制作ダンス 鷹赤見 × フランソワ・シェニョー 『ゴールドシャワー』	10月15日 ~ 17日	『マーキュリー・ファー Mercury Fur』、現代サーカス交流プロジェクト『フィアース5』、『子どもに向けた戯曲リーディング公演+ワークショップ』、移動劇場『@ホーム公演』、学校のためのワークショップ、『地域の物語』、こどもプロジェクト2021『せたがや夏いちらくご』『悟空～冒険の幕開け～』ほか	
芸術監督企画 『MANSAI・解体新書 その参拾弐』	10月26日		
世田谷文化生活情報センター / 国際事業部			
せたがや国際交流センターの運営	通年	多文化理解講座	年8回
外国人のためのまち歩きツアー	年3回	【地域活動団体との連携事業】 イベント・講座などの合同実施、せたがや国際交流センターにおける団体紹介	通年
日本語交流会	年4回	ほか	
世田谷美術館		世田谷文学館	
アイノとアルヴァ 二人のアルト フィンランド—建築・デザインの神話	(3月20日) ~ 6月20日	イラストレーター 安西水丸展	4月24日 ~ 9月20日
【ミュージアム コレクション特別篇】 グローバル化時代の現代美術 —“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行	7月3日 ~ 8月22日	描くひと 谷ロジロー展	10月16日 ~ 4年2月27日
塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかすにはいられない！人生絵日記	9月4日 ~ 11月7日	コレクション展前期 受贈記念 夷齋先生・石川淳	4月24日 ~ 9月26日
生誕160年記念 グランマ・モーゼス展 —素敵な100年人生	11月20日 ~ 4年2月27日	コレクション展後期 開館25周年記念 セタブン大コレクション 展 PART I ふかくこの生を愛すべし	10月16日 ~ 4年3月31日
出版120周年 ピーターラビット™展	4年3月26日 ~ (6月19日)	ライブラリー「ほんとう」の運営	通年
本館ミュージアム コレクション(特別篇除き 年3回)、各分館収蔵品展(年2回)	通年	どこでも文学館(出張展示、ワークショップ などの教育普及事業)	通年
講座・ワークショップ、鑑賞教室ほか		オンライントークイベント「水丸カレー部、集合！」、オンラインワークショップ「哲学カフェ」ほか	

※事業名称及び開催日程は最新の情報を掲載しているため、事業計画書の内容と異なる場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に伴い、今後の状況次第で取り扱いが変更となる可能性があります。

2 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引 消去	合計
	公1	公2	小計	収1	収2	小計			
	文化芸術の振興、 地域文化創造活動 の支援及び教育普 及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業		物品販売事業	飲食物提供事業				
I 一般正味財産の部									
1 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	4,268,000		4,268,000
特定資産運用益	967,000	0	967,000	0	0	0	0		967,000
事業収益	1,189,471,000	275,000	1,189,746,000	19,495,000	3,641,000	23,136,000	0		1,212,882,000
受取区補助金	1,260,577,000	41,030,000	1,301,607,000	0	0	0	12,063,000		1,313,670,000
受取助成金等	144,240,000	0	144,240,000	0	0	0	0		144,240,000
受取寄附金等	500,000	0	500,000	0	0	0	0		500,000
受取負担金	10,026,000	0	10,026,000	336,000	5,926,000	6,262,000	0		16,288,000
雑収益	165,000	0	165,000	0	0	0	0		165,000
経常収益計(A)	2,605,946,000	41,305,000	2,647,251,000	19,831,000	9,567,000	29,398,000	16,331,000		2,692,980,000
(2) 経常費用									
事業費	2,662,909,000	41,336,000	2,704,245,000	19,028,000	6,760,000	25,788,000			2,730,033,000
管理費							16,666,000		16,666,000
経常費用計(B)	2,662,909,000	41,336,000	2,704,245,000	19,028,000	6,760,000	25,788,000	16,666,000	0	2,746,699,000
税引前当期一般正味財産増減額(C)	△ 56,963,000	△ 31,000	△ 56,994,000	803,000	2,807,000	3,610,000	△ 335,000		△ 53,719,000
他会計振替額(D)	1,726,286	0	1,726,286	△ 383,926	△ 1,342,360	△ 1,726,286	0		0
法人税、都民税及び事業税(E)	0	0	0	125,722	439,392	565,114	0		565,114
当期一般正味財産増減額(F)=(C)+(D)-(E)	△ 55,236,714	△ 31,000	△ 55,267,714	293,352	1,025,248	1,318,600	△ 335,000		△ 54,284,114
一般正味財産期首残高(G)	532,436,851	△ 6,912,640	525,524,211	119,675,320	12,396,901	132,072,221	3,967,287		661,563,719
一般正味財産期末残高(H)=(F)+(G)	477,200,137	△ 6,943,640	470,256,497	119,968,672	13,422,149	133,390,821	3,632,287		607,279,605
II 指定正味財産の部									
当期指定正味財産増減額(I)			0			0	0		0
指定正味財産期首残高(J)			0			0	800,000,000		800,000,000
指定正味財産期末残高(K)=(I+J)	0	0	0	0	0	0	800,000,000		800,000,000
III 正味財産期末残高(L)=(H+K)	477,200,137	△ 6,943,640	470,256,497	119,968,672	13,422,149	133,390,821	803,632,287		1,407,279,605

令和3年度

公益財団法人せたがや文化財団

事業計画書

収支予算書

その他の付属書類

公益財団法人 せたがや文化財団

目 次

(事業計画書)

1. 令和3年度事業方針	1
2. 事業の体系	6
3. 事業計画	
(1) 世田谷文化生活情報センター生活工房	16
(2) 世田谷文化生活情報センター世田谷パブリックシアター	19
(3) 世田谷文化生活情報センター音楽事業部	26
(4) 世田谷文化生活情報センター国際事業部	27
(5) 世田谷美術館	29
(6) 世田谷文学館	34
(7) 財団共通	38

(収支予算書)

1. 収支予算(損益計算書ベース)	42
2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)	44

(その他の付属書類)

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	51
-----------------------	----

事業計画書

1. 令和3年度事業方針

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、各館における多くの事業が中止や延期となり、全事業の再構築を迫られる未曾有の一年となりました。

終息は未だに見通せず、社会経済の先行きの不透明感や世田谷区の令和3年度の予算編成状況を背景とし、財団の令和3年度収支予算は、経常収益が前年度比約9%（約2億5千万円）の減、また、経常費用が前年度比約9%（約2億6千万円）の減となっています。

財団は、このような厳しい財政状況下で、前例にとられない創意工夫した取組みを進めます。例えば、昨年度に新たに取組みました映像コンテンツのオンライン配信やSNSを活用した情報発信などは更に進め、感染防止の徹底を図りながら、各館の特色を生かした財団の総合的な力を発揮してまいります。また、昨年度当初、美術館において、企画展が中止に追い込まれる中、展示作品ではなく、内井昭蔵氏設計の美術館そのものを観てもらおうという逆転の発想により開催いたしました「作品のない展示室」はSNSや口コミで評判となり、約2か月の開催期間中に1万6千人を超える来場がありました。財団職員の新鮮な発想により、この様な「気づきの扉」を開け、状況の転換を図ること、より良い方向に変えていくことに尽力します。

財団は、この間、「公益財団法人せたがや文化財団人材活用計画」等を策定し、人材育成に積極的に取組み、持続可能な経営体制の構築を進めるとともに、労働時間の適正化や同一価値労働・同一賃金に取り組んでまいりました。今後とも、職員の働く環境の整備に取り組む、職員が安心して、また意欲をもって職務に取り組めるようにすることにより、効率的で効果的な業務遂行・事業展開を実現してまいります。

引き続き、予算としても、事業を行う環境としても厳しい状況が続いていくことと思われます。そのような中であっても、文化・芸術は、古代から私たちの生きた証しであり、心の支えとなってきたものと信じ、時々の状況に応じた工夫を重ねながら各事業を展開し、区民・利用者の期待に応えてまいります。

《世田谷文化生活情報センター》

世田谷文化生活情報センターは、生活デザインを提案する「生活工房」、演劇とダンス公演を主に展開する公共劇場「パブリックシアター」、親しみやすく良質な音楽を提供する「音楽事業部」の3部門に加え、令和2年度に国際事業部を新設しました。

区民の文化向上に寄与する創造的な文化施設であり続けるため、今後も地域の方々との関わりや幅広い分野とのコラボレーションを重視し、公演、展示、教育普及など様々な事業を展開するとともに、区の施策と連携しながら多文化共生の取組みも進めてまいります。

・生活工房

生活工房では、セミナールーム・ワークショップルーム・市民活動支援コーナーの施設管理運営を基盤に、「生活デザイン」の領域で「展覧会」「ワークショップ」「セミナー」等を展開します。

新型コロナウイルスの感染拡大で、私たちは思いがけず、日々の「生活」を見つめなおし、本当に大切なものは何かを考えさせられました。生活工房では、これを機に改めて「生活」「生きる

こと」の原点にあるものや、地域の暮らしや人々の営み、日々の思いなどを見つめ直します。従来どおり、見る、やってみる、人と出会う等リアルな体験を大切にしつつ、リモートのメリットも積極的に活用します。

前年から延期となった「アメリカン・トイズ since 1920s」展、アートとテクノロジーを融合させ「色の世界」を考察する展覧会ほか、広く生活文化にまつわるモノ・コトを紹介し、参加者とともに考える機会をつくります。また、財団の他施設や、大学、民間事業者等との提携や助成金の活用により、予算削減の中でも事業の多様性を維持し、施設の活性化に努めます。

子どもの創造性を育む取組みにも力を入れていきます。夏の子どもワークショップに加え、10代の子どもたち向けに、創造的な仕事のプロを囲むトークシリーズ「仕事図鑑」を新たにスタートします。

なお、4階ワークショップルーム A・B、コミュニティキッチン、世田谷区が新型コロナウイルスワクチンの区民集団接種会場として使用するため、令和3年4月から9月末日まで主催事業での使用及び区民利用を停止します。

・世田谷パブリックシアター

豊かな地域社会の形成に資することを基本方針に、新型コロナウイルスへの万全の対策をおこないながら、次の事業を進めてまいります。

公演事業として、優れた舞台作品の創造発信。国内交流・国際交流のネットワークの構築。日本文化を再認識し、国際文化交流を意識した事業の展開。

普及啓発事業として、文化芸術の体験、支援、教育および発表機会の提供。地域・行政との連携および協働。地域交流の活性化。

人材養成事業として、専門家、技術者、アーティストなど、次代を担う人材の育成。観客、劇場支援者の開拓、育成などを進めてまいります。

鑑賞機会の整備としては、各種割引制度の設定、託児サービスや障害者のための車椅子スペースの確保など様々な来館者サポートを充実させます。また、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により実施できなかった舞台説明会や音声ガイドサービスを、状況を見つつ再開していきます。さらに、英語による情報発信を強化するなど、多言語対応を着実に進めます。

また、SNSなどの新しいメディアも活用した広報宣伝活動を通じて、区内外に情報を広く周知し、地域の劇場／創造発信型劇場としての劇場の存在意義を高めるブランディング活動とともに、これら事業の充実した達成に向けて、国や公共機関、及び民間企業等の助成や協賛の獲得を積極的に働きかけるよう努力を続けてまいります。

そして、今後も、舞台芸術が持つ力と、劇場という場が備えている力を活用して、誰もが等しく芸術に親しみ、共有できる事業の展開を目指してまいります。

・音楽事業部

未曾有の一年を経ての令和3年度。予算も事業を行う環境も厳しい状況の中で、再始動の年となります。原点に立ち戻り、厳選した事業に取り組みます。

活動の核である「せたがやジュニアオーケストラ」。10周年を機に改めた運営体制を本格的に

始動させる年となります。中止となった記念定期演奏会の指揮者を招き、改修工事中の世田谷区民会館を離れて、屈指の音楽ホール・ミュージアム川崎での演奏会に挑みます。

「室内楽シリーズ」は、内容を精査します。まずは人の声からと、名ソプラノの歌を届ける公演のほか、池辺晋一郎音楽監督の独自の視点を活かした企画「異分野とのコラボレーション」を組み込みます。宮川彬良スペシャル・プロデューサーによる「せたがや音楽研究所」も内容を見直し、より親密な空間で実施します。人気を呼んでいる、我が国の伝統的な音楽・楽器を紹介する「シリーズ和・華・調」は、見落としがちな琉球民謡に焦点をあてます。

「せたがやまちかど・まちなかコンサート」、「連携コンサート」といった場所や環境に応じた事業、また「世田谷区民音楽団体の支援」などを通じて、きめ細やかに、より一層区民に寄り添っていきます。そして、唯一の新規事業である「世田谷アーティスト支援企画」。世田谷の音楽家が、世田谷区民に向けて、これからの音楽を提案していきます。

事業数を絞りつつ、内容はこれまで以上に深く。「密」な活動を展開していきます。

・国際事業部

区内に住む外国人人口の増加とともに、2020東京大会を契機に多くの外国人が世田谷区を訪れ、世田谷区民も、外国のことを知り、理解し、ともに生きていくことができるよう、昨年4月にせたがや国際交流センターを開設しました。

せたがや国際交流センターでは、在住外国人が日本で暮らしていくための必要な情報を提供するとともに、困りごとを解決するためのご案内を行います。また、日本語ができない外国人のため日本語コミュニケーションに関する講座を区とともに開催し、日本語の習得とともに学習者同士の交流を生み、日本での生活が充実したものになるように支援します。国際交流活動団体支援では外国人に対する支援がスムーズにできるよう、団体間のネットワークの拡充、活動の活発化や相乗効果を高めてまいります。区民の方々が、日本と外国の文化の違い、考え方の違い、また、言語が違う中での情報の伝え方の方法などを学び、世田谷区で生活する同じ地域住民として、ともに活躍し、支えあうことができるよう多文化理解講座を開催します。そのうえで、区民の方々の持つ能力を、外国人支援や地域活動に活かしていける仕組みを構築してまいります。

《世田谷美術館》

令和3年度も前年度に引き続き、感染症対策に万全を尽くし、安心してご来館いただける環境を整備してまいります。

企画展事業は、新型コロナウイルスの影響から見直しを重ね、次のように計画しています。まず、令和2年度から引き続きかたちでフィンランドの建築とデザインを紹介する「アイノとアルヴァ二人のアアルト」。オリンピック・パラリンピック期間には、前年度、コロナ禍により延期した、収蔵品を活用する「グローバル化時代の現代美術」を全館展示します。また、日本版素朴派とも言える塔本シスコを紹介する「シスコ・パラダイス」、さらに、アメリカの国民的画家の紹介となる「グランマ・モーゼス展」と続きます。年度末からは世界的に有名なピーター・ラビットを紹介する展覧会を計画しております。収蔵品を活用したミュージアム コレクションは3本の企画を実施します。

普及事業は対面形式のワークショップや講座が困難な状況であることから、映像コンテンツを制作し、これをオンライン配信するなど新たな手法をさらに充実させ、小学校鑑賞教室も来館が困難な中、学校への出張授業を継続し、また、これに替わる教材も制作し、各校に提供をいたします。そして、収容人員をコントロールしながら、講演会、コンサートなどの開催も進め、三密を避けつつ、美術館としての社会的使命を果たしてまいります。

《世田谷文学館》

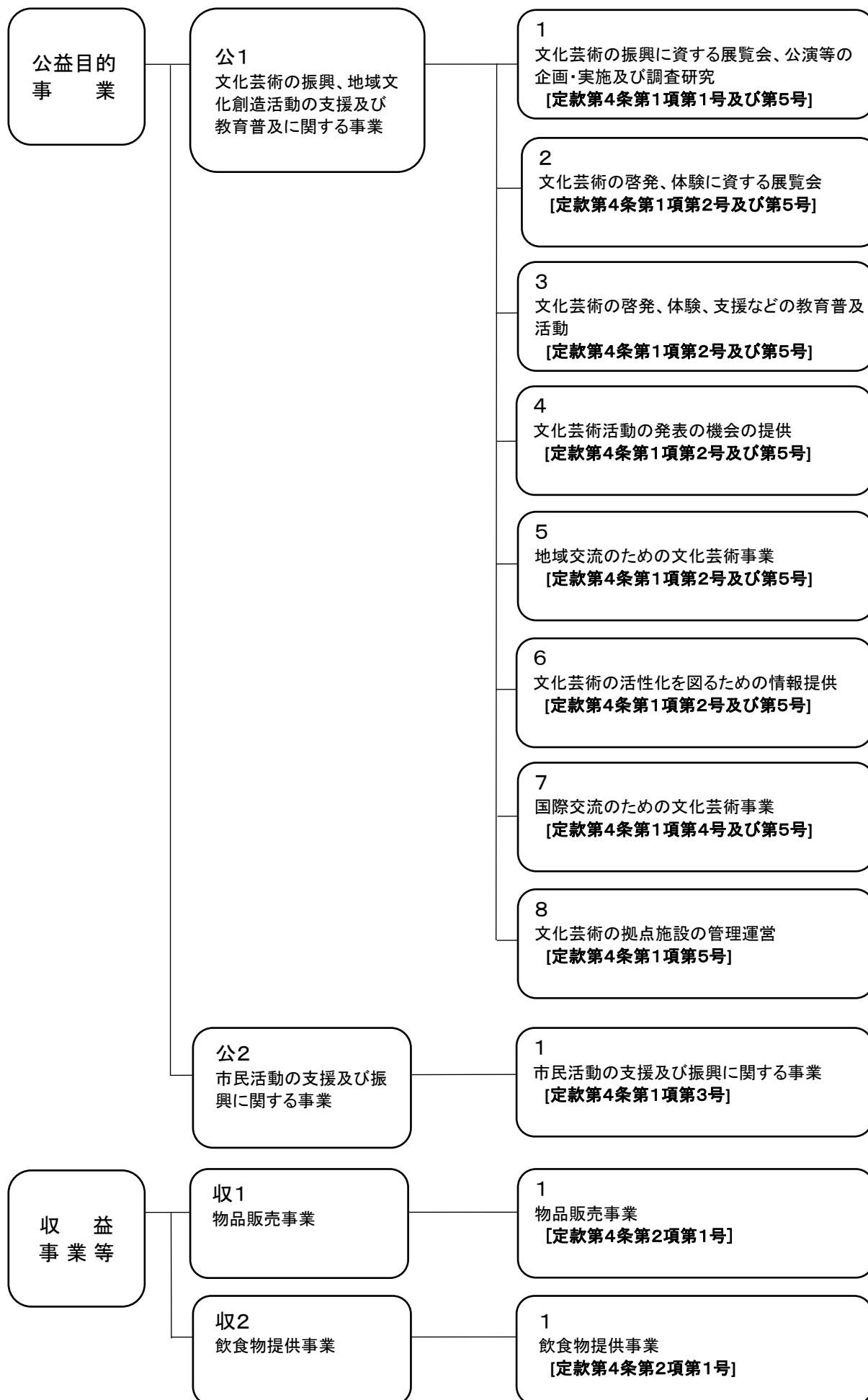
新型コロナウイルスの影響による財政状況の悪化を受け、企画展は2本となりました。

「イラストレーター 安西水丸展」ではイラストやエッセイ、装幀、絵本など多方面で活躍した唯一無二のクリエイターの全仕事を、「谷ロジロー展」は日本マンガの成熟を象徴する存在として世界で高く評価されるその作品世界をご紹介します。いずれも東京での初の大型企画展として、通常より開催期間を延長してお届けいたします。

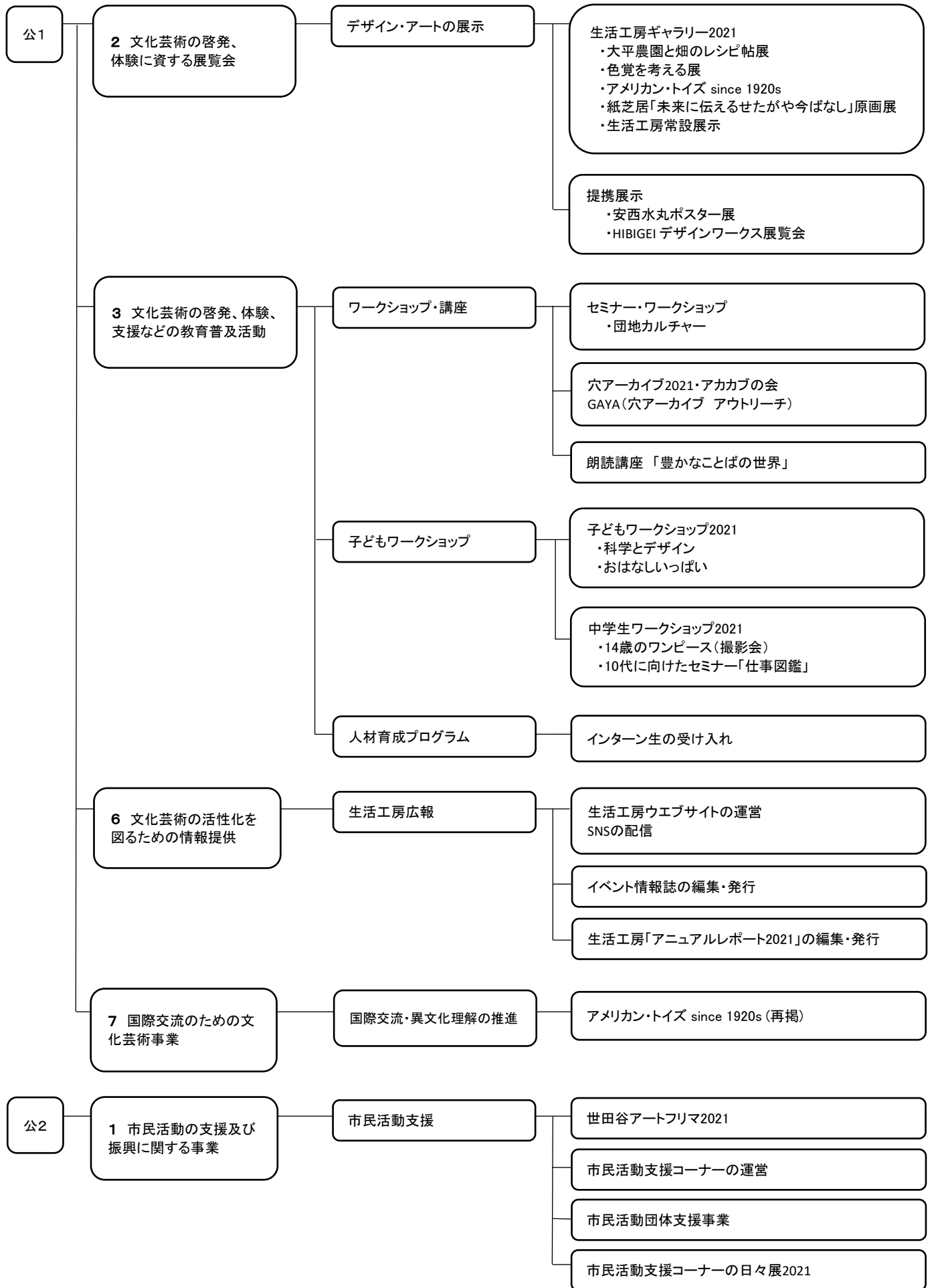
コレクション展は、前期は昭和を代表する作家・石川淳の新収蔵品で構成する「石川淳展(仮称)」、後期は当館の多彩なコレクションを基にゆかりの作家たちの創作とエピソードをご紹介します「開館25周年記念コレクション展(仮称)」を開催いたします。

感染症の拡大は運営面にも大きな制約をもたらしましたが、事業展開の可能性を探るチャンスの時期ともいえます。ホームページの改修による情報発信力のアップ、オンラインでのトークイベントやワークショップの実施、収蔵品のインターネット検索サービスなどICTツールも活用しながら「もっと、いつでも、どこでも、だれでも」アクセス可能な文学館をめざして進んでまいります。

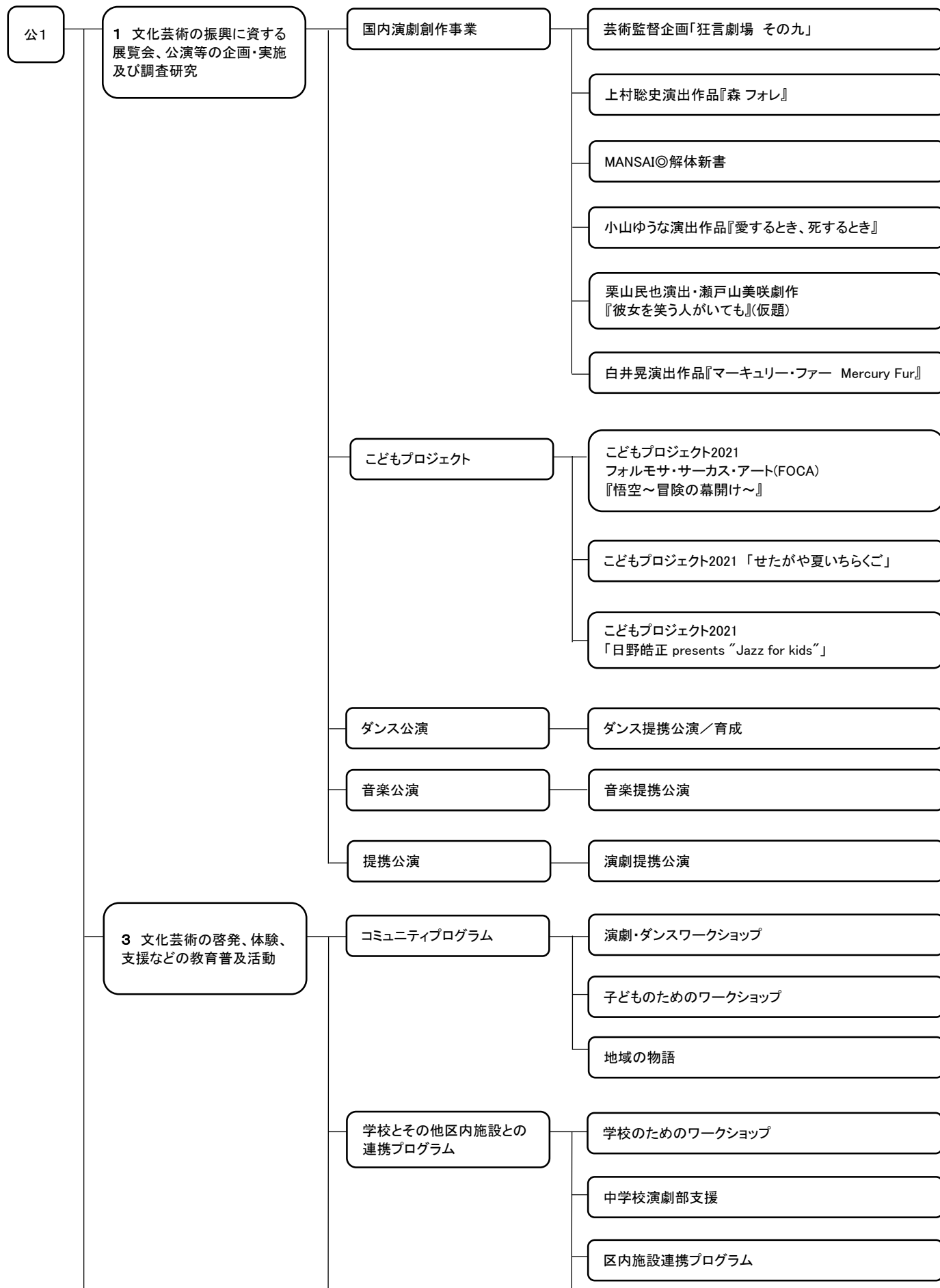
2. 事業の体系

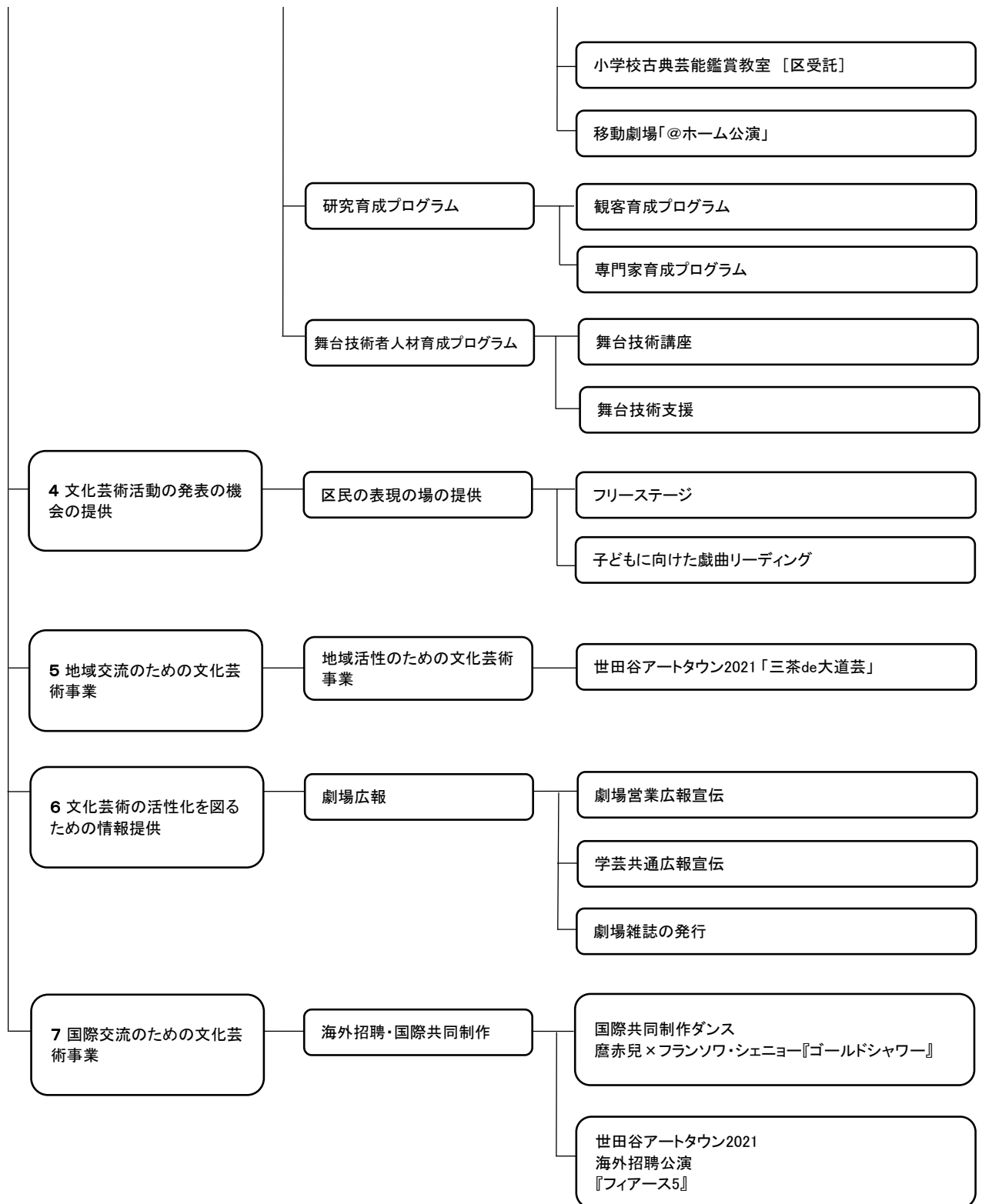


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 生活工房

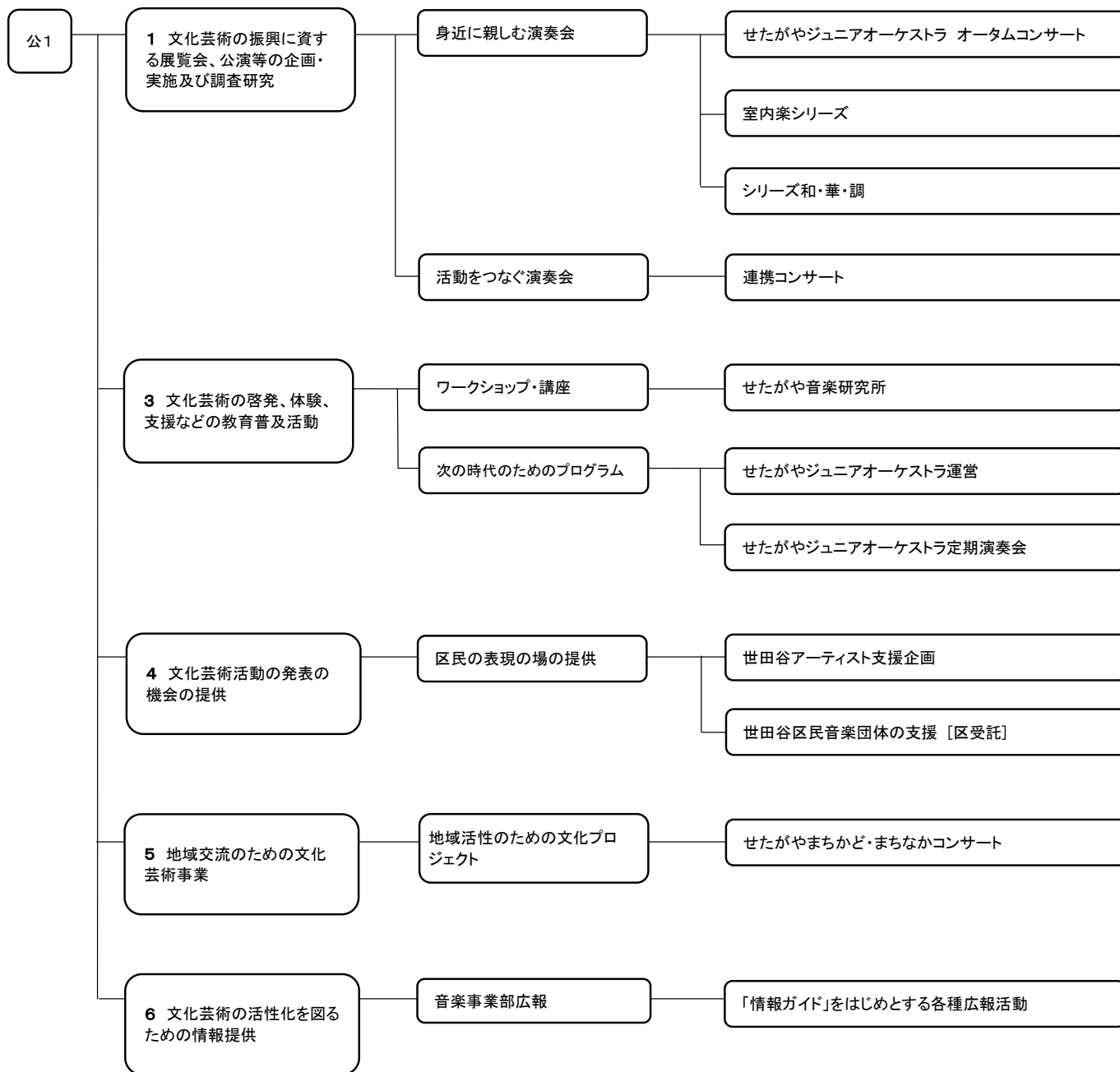


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

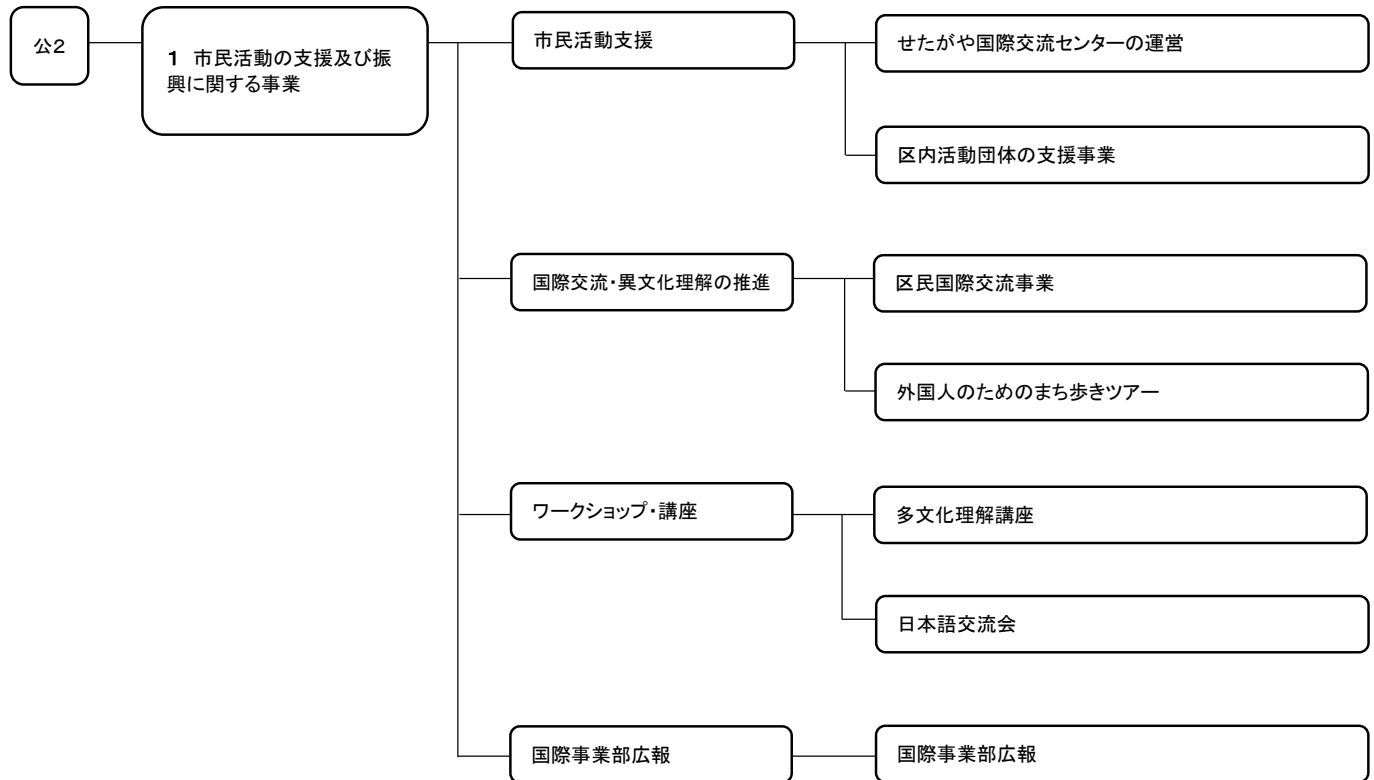




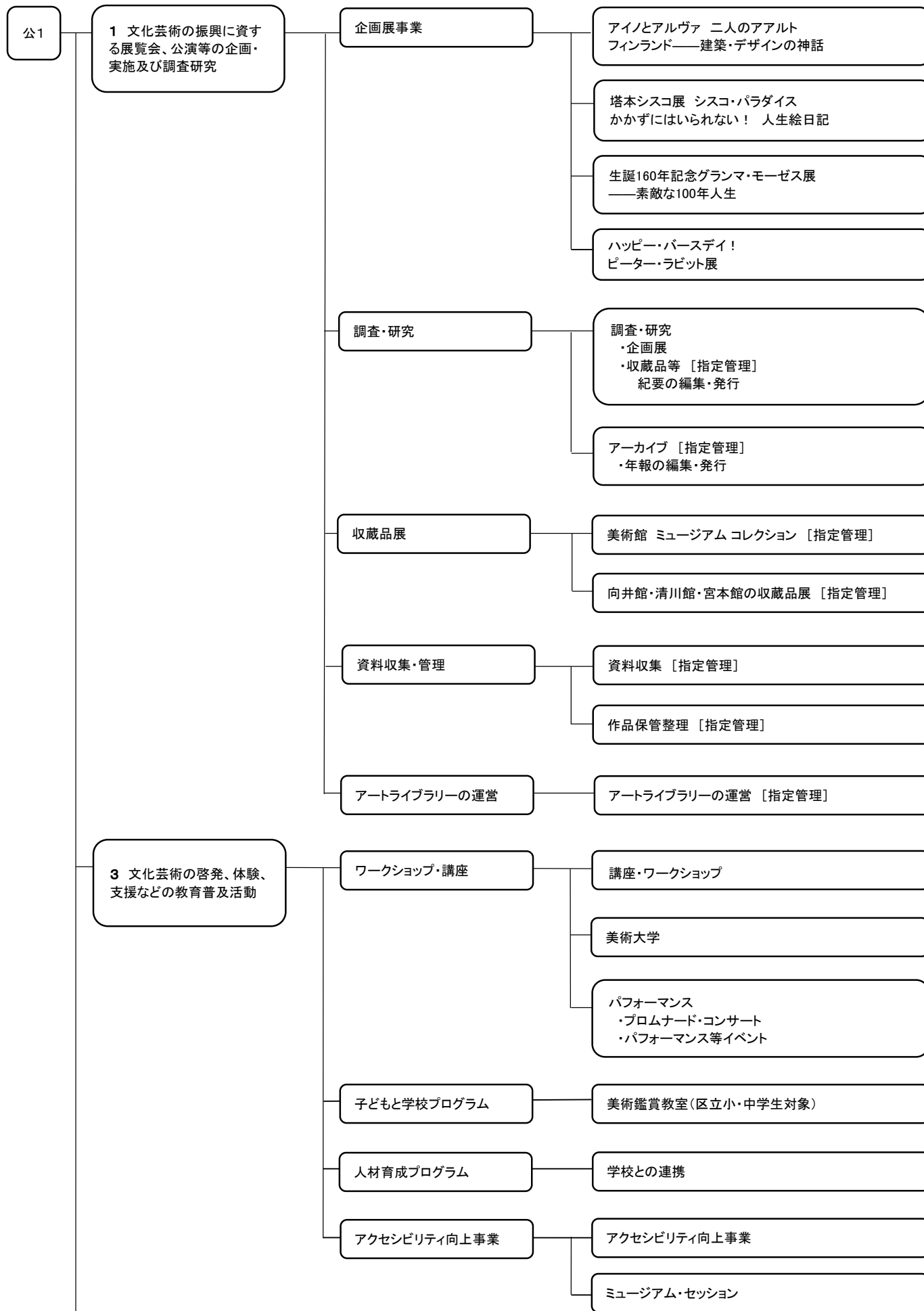
事業の体系 世田谷文化生活情報センター 音楽事業部

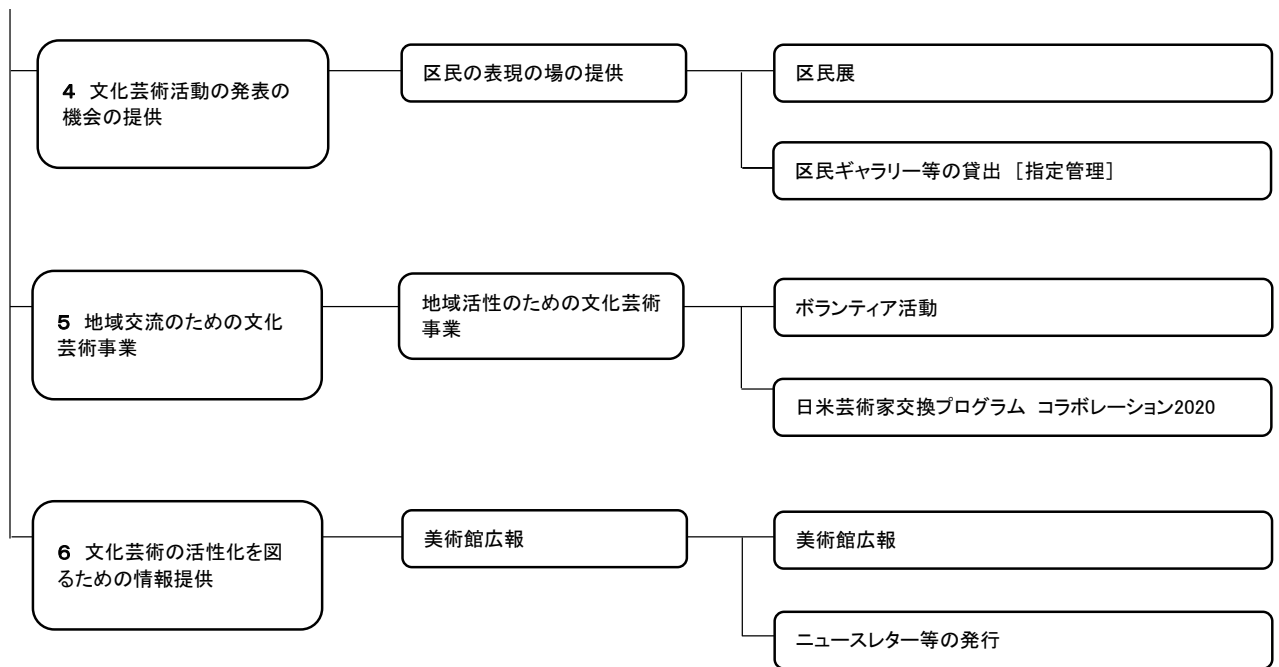


事業の体系 世田谷文化生活情報センター 国際事業部

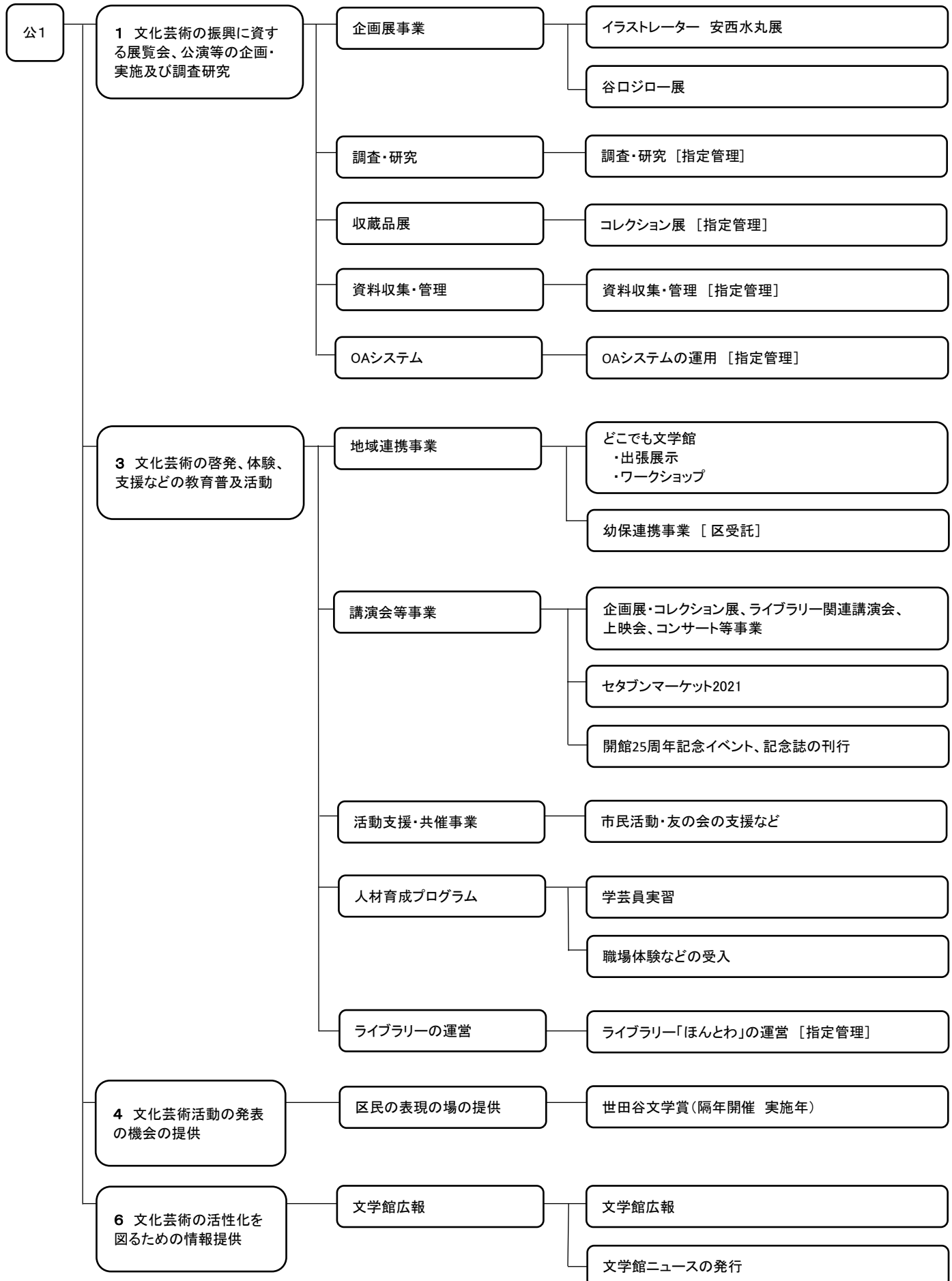


事業の体系 世田谷美術館

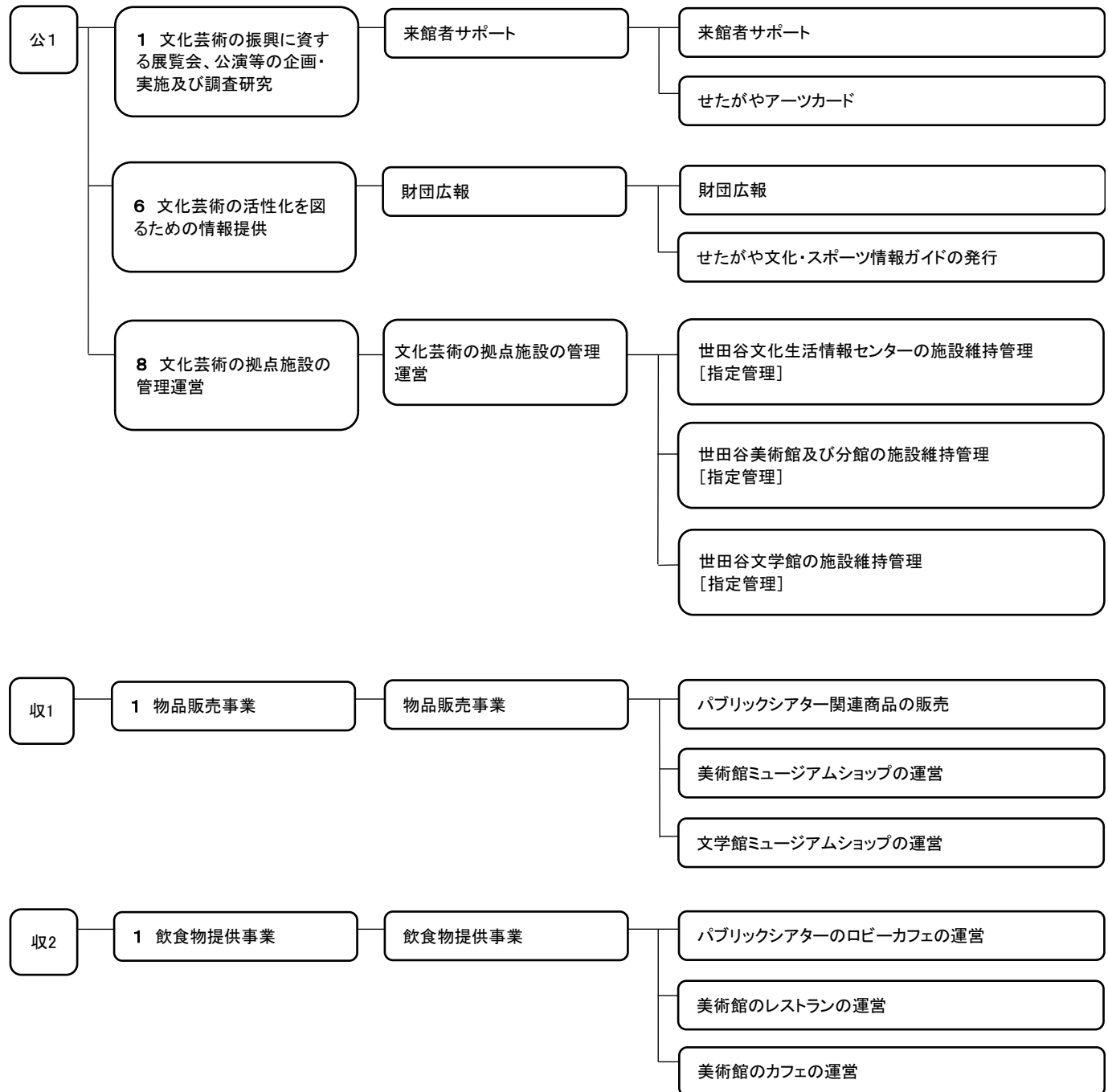




事業の体系 世田谷文学館



事業の体系 財団共通



3. 事業計画

(1) 世田谷文化生活情報センター 生活工房

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
デザイン・ アートの展示	生活工房ギャラリー2021	地域の暮らしから異文化理解まで、幅広いテーマの展示事業を、生活工房ギャラリーで実施。関連してトークイベントやワークショップも開催。			
	① 太平農園と畑のレシピ帖展	世田谷区等々力に400年続く有機農家の歴史と農園の四季、農園を支える市民グループの活動を通じて都市農業の現状や課題も考察する展覧会。	3,000人	(3月2日)～ 6月27日	生活工房ギャラ リー他
	② 色覚を考える展	「色」をテーマにして、最先端の「アートとテクノロジーの融合」を体験する展覧会。人や動物がどのような「色の世界」を生きているのかを考察する。(共催:東京工芸大学)	3,000人	7月～8月	生活工房ギャラ リー他
	③ アメリカン・トイズ since 1920s —暮らしと時代を映す玩具展	アメリカ北東部を中心に、1920～80年代に製造された玩具200点超を展示し、古き時代のアメリカの精神性や生活文化の変遷に触れる展覧会。	3,000人	9月～11月	生活工房ギャラ リー他
	④ 紙芝居「未来に伝えるせたがや今ばなし」原画展	令和2年度「世田谷区芸術アワード“飛翔”生活デザイン部門作品発表展」での成果を、さらに発展させ、完成させた紙芝居の原画展を開催する。	2,000人	4年1月～3月	生活工房ギャラ リー他
	⑤ 生活工房常設展示	生活工房で実施した展覧会やワークショップを記録した写真、映像、資料などを公開し、閲覧できる可動的なコーナーを設置。	2,000人	通年	生活工房ギャラ リー他
	提携展示	他の施設や団体等との連携により企画展を開催する。施設利用の活性化を図るとともに、「生活デザイン」に関する多様な事業を展開する。			
① 安西水丸ポスター展	文学館で開催する安西水丸氏(イラストレータ、漫画家)の展覧会に併せて、ポスター展を行う。(提携:世田谷文学館)	1,000人	7月	生活工房ギャラ リー他	
② HIBIGEIデザインワークス展覧会 ～人生を変えるシゴトの見本市	障害のある人が描いた絵画やイラストを「日々の芸術」と名付け、編集・デザインし、社会価値へと変えていく「HIBIGEI」のデザインワークを紹介する展覧会。(提携:株式会社ふくしごと)	1,000人	12月	生活工房ギャラ リー他	

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ ・講座	セミナー・ワークショップ シリーズ	新たな視点から生活を見つめ、学びや気づきをもたらすセミナー・ワークショップのシリーズ。			
	①団地カルチャー	《団地》が生まれた思想や歴史、そして最新の動向まで、団地文化を通して日本人の暮らしを探求するシリーズ企画。	70人	4年2月	セミナールーム他
	②穴アーカイブ2021・アカカブの会	これまでにデジタル化した映像を活用したプログラムを実施。定例会やギャラリー内での常設展示をはじめ、映像によって思い出された記憶を収集、公開していく。	40人	通年	セミナールーム他
	③GAYA(穴アーカイブ アウトリーチ)	東京都アーツカウンシル東京、NPO法人remoと3者で共催するGAYA(令和元年度～)では地域に根ざしたアウトリーチ活動として、映像をじっくり見ながら、写っている内容を調べ、目録制作を行う。	100人	通年	セミナールーム他
	朗読講座「豊かなことばの世界」	文学作品の朗読を通じて「ことば」のもつ力や自分自身の表現力の向上、朗読活動の一助となる機会を提供する。(提携:NHK放送研修センター)	240人	通年	セミナールーム
子どもワーク ショップ	子どもワークショップ2021	幼児から中高生を対象に、デザインやコミュニケーションの体験などを通して、創造性を育む機会を創出する。			
	①14歳のワンピース(撮影会)	ファッションデザイナーによる実践的ワークショップ。前年度のワークショップを経て、仕立て上がったワンピースを着て撮影会を行う。	15人	4月25日	ワークショップルーム他
	②科学とデザイン	「色覚を考える展」の関連企画として実施。日常を科学やデザインの視点から観察・実験・考察するワークショップ。(2企画)	60人	7月～8月	セミナールーム他
	③おはなしいっぱいオンライン開催>	幼児から大人まで楽しめる朗読、素話、パネルシアターなど、区内30団体をネットワークする「世田谷おはなしネットワーク」によるお話会。活動団体のネットワーク構築と活性化を支援する。	1,460人	8月24日～ 27日	セミナールーム他
	④10代に向けたセミナー「仕事図鑑」～みんな、どんなふうに通じて生きてゆくのか？	10代を対象に、働くとはどういうことか、何のために働くのか？新時代の多様な「働き方や生き方」について、働き方研究者やゲストとともに学ぶセミナー。	100人	11月～12月	セミナールーム他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
人材育成プログラム	インターン生の受け入れ	近隣大学からインターン生を受け入れ、コミュニティや交流について事業の現場体験の場を提供する。(2回)	2人	8月	—
生活工房広報	生活工房ウェブサイトの運営	生活工房の施設案内、事業予定、募集情報、関連ブログなどを掲載し、情報を発信する。SNS (Twitter、Facebook Page、Instagram)と併せ、効果的に広報を展開する。	—	通年	—
	イベント情報紙の編集・発行	生活工房プログラムのスケジュール、事業内容を紹介する情報紙を発行する。	—	通年	—
	生活工房「アニュアルレポート2021」の編集・発行	年間のプログラムを記録した報告書。生活工房の活動を視覚的にわかりやすく紹介する冊子を発行する。(1回)	1,500冊	4年4月	—
国際交流・異文化理解の推進	①アメリカン・トイズ since 1920s —暮らしと時代を映す玩具展(再掲)	アメリカ東海岸を中心に、1920～80年代に製造された玩具約200点を展示し、古き時代のアメリカの精神性や生活文化の変遷に触れる展覧会。	3,000人	9月～11月	生活工房ギャラリー他
市民活動支援	世田谷アートフリマ2021	区内のアーティスト、クラフト作家等に創作活動の発表、販売、および区民との交流の場を提供する、区民参加型イベント。	1,000人	9月	市民活動支援コーナー他
	市民活動支援コーナーの運営	区内を中心に活動する市民活動団体の活動場所等の提供と、市民活動の活性化を図るための事業を実施。			
	①市民活動支援コーナーの運営	市民活動団体の活性化を目的に、打合せの場やプリントアウトスペースなどの場を提供。コーナーの運営は市民活動団体に委託。	7,000人	通年	市民活動支援コーナー
	②市民活動団体支援事業	区内の市民活動団体の発展と活性化を図るための「市民活動団体支援講座」を展開。	50人	通年	市民活動支援コーナー、セミナールーム他
	③市民活動支援コーナーの日々展2021	日頃から市民活動支援コーナーを利用している団体が活動の成果を発表する展覧会。	1,000人	4年3月～	生活工房ギャラリー他

(2)世田谷文化生活情報センター 世田谷パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	芸術監督企画 「狂言劇場 その九」『法螺侍』『鮎』	能狂言の体現者であり、継承者である芸術監督・野村萬斎自身が企画・監修・演出することで、能狂言が持つ総合舞台芸術性や様式、そして発想を深く掘り下げながら、舞台芸術の多面的な要素を融合させた新しい能狂言作品を創作する『狂言劇場』。2004年にスタートした本シリーズは、劇場空間ならではのオリジナリティあふれる舞台美術・新演出で毎回話題を呼んでいる。 今回は、狂言劇場には初登場となる『法螺侍』と『鮎』という2作品を、あらたな配役、あらたな演出で上演する。(8回予定)	3,150人	6月18日～ 27日	パブリックシアター
	上村聡史演出作品 『森 フォレ』	原作:ワジディ・ムワド 翻訳:藤井慎太郎 演出:上村聡史 平成26年以来上演を重ね各演劇賞を多数受賞してきた、家族をテーマに扱った作品群「血の4部作」第3弾目。『炎 アンサンディ』、『岸 リトラル』につづく『森 フォレ』のキャスト陣は、11名中半数が前2作の出演者、またスタッフも第1作目の『炎』以来変更無く全員が続投で、本シリーズならではのカンパニーとしての布陣となる。 現代からベルリンの崩壊、第二次世界大戦、第一次世界大戦、普仏戦争、産業革命後のヨーロッパまで遡っていく構成を辿る本作は、6世代と2大陸にまたがる壮大な時空間の中に立ち上がり、歴史に潜む悲劇の連鎖が今の私たちの在り様を照射する。(18回予定)	7,599人	7月	パブリックシアター
	芸術監督企画 『MANSAI ◎解体新書 その参拾弍』	能や狂言などの伝統芸能がもっている技、精神、構造などを芸術監督の野村萬斎が毎回様々なジャンルからゲストを招き、実演、トークセッションなどを通じて解き明かすシリーズの第32弾。(1回予定)	450人	10月26日	パブリックシアター
	小山ゆうな演出作品 『愛するとき 死するとき』	作:フリッツ・カーター 演出:小山ゆうな 出演:浦井健治 他 フリッツ・カーター作『愛するとき 死するとき』は2002年にハンブルクで初演。同年のドイツ国内での「今年の代表作」に選ばれる。 今や話題の演出家として名前の挙がる小山ゆうなと、大きな舞台への出演が続く浦井健治の初顔合わせで、シアタートラムという緊張感のある空間で、刺激的かつ緻密な人間ドラマを立ち上がらせる作品作りに臨む。翻訳はベルリン生まれの演出・小山が自ら担当予定。(24回予定)	3,488人	11月～12月	シアタートラム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
国内演劇 創作事業	栗山民也演出・瀬戸山美咲劇作 『彼女を笑う人がいても』(仮題)	演出:栗山民也 脚本:瀬戸山美咲 出演:瀬戸康史 他 現代日本演劇界の巨匠・栗山民也を演出に迎え、次代を担う劇作家・演出家の 瀬戸山美咲の書き下ろしによる新たな現代演劇を創作上演する。 戦後日本でもとりわけ多くの文学・芸術作品の題材となってきた1960年安保闘 争を舞台に、“安保報道”の中で葛藤する新聞記者の青年の軌跡を追う物語。現代 日本の抱える社会問題を映し出すことを得意とする瀬戸山の作劇により、現代 2021年と1960年を往還しながら、報道の真実やマスコミュニケーションの正義を追 い求める青年が、時代に押しつぶされた“声なき声”にたどり着いていく。現代を 生きる我々が見失った情熱や日本社会の闇を強く問いかける作品。(18回)	7,087人	12月4日～ 18日	パブリックシアター
	白井晃演出作品 『マーキュリー・ファー Mercury Fur』	作:フィリップ・リドリー 演出:白井晃 翻訳:小宮山智津子 2015年に日本初演し、大きな芸術的成果を得た『マーキュリー・ファー』。今回 は、さらにブラッシュアップし再演を行うことで、世田谷パブリックシアターのレパ トリー作品として上演する。 第9回、第10回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞など多数の受賞歴を持ち、 2016年よりKAAT神奈川芸術劇場の芸術監督を務めるなど、常に日本演劇界を リードしてきた白井晃を再び演出に迎え、改訂再演する。(24回予定)	9,450人	4年1月28日 ～2月16日	パブリックシアター
こどもプロジェ クト	こどもプロジェクト2021 フォルモサ・サーカス・アート(FOCA) 『悟空～冒険の幕開け～』	アジア随一の現代サーカスカンパニー、フォルモサ・サーカス・アート(FOCA)を 台湾より招聘し、人気作の『悟空』を上演。 お客様が広く気軽に楽しむことのできる現代サーカスは、演劇やダンスと並び 「スポーツとアートの間」にある新しいパフォーマンスとして注目を集めている。 日本でもよく知られる孫悟空の物語を、アクロバット、ジャグリング、エアリアルな のサーカステクニックと、ストリートカルチャー、演劇、ダンスなどをミックスさせ た独自の演出手法に加え、台湾の伝統音楽を用いた迫力あるパフォーマンスで大 胆に表現する。(3回予定)	900人	7月28日～ 29日	パブリックシアター
	こどもプロジェクト2021 『せたがや夏いちらくご』	古典落語を扱いつつも現代の風刺を取り入れ大胆アレンジする作風と、とっつ きやすい語り口で幅広い年齢層から多くの支持を集める春風亭一之輔がプロ デュース。落語、お笑い、演芸などで活躍する芸人を招くことで、寄席芸能をよ り身近に感じることができ、テレビ等以外ではなかなか接する機会のない、伝統 的・本格的な大衆演芸の面白さ、話芸のすばらしさを伝える内容とし、地域住民 から幅広く来場者を得ることをめざす。 昼夜2回開催とし、昼の部はこどもから楽しめる寄席入門編企画を、夜の部は劇 場開場当初から続く寄席企画の客層も満足できる本格的な内容とし、世田谷パ ブリックシアターならではの親しみやすいプログラムを幅広い観客に提供する。(2回 予定)	800人	8月8日	パブリックシアター

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
こどもプロジェクト	こどもプロジェクト2021 「日野皓正 presents “Jazz for Kids”」	ジャズミュージシャン日野皓正をオーガナイザーに迎え、せたがやこどもプロジェクトの一環として一流のミュージシャンが集うジャズコンサートを開催し、地域住民および未来を担う子どもたちならびに音楽ファンに向け、良質な音楽鑑賞および音楽体験の機会を提供する。 従来、Dream Jazz Band Workshop(世田谷区教育委員会主催事業)と連携し、世田谷区の中学生によるジャズビッグバンドを結成、成果発表として世田谷パブリックシアターでコンサートを実施していた。しかし、同ワークショップ事業終了予定であった2020年度のコンサートが、新型コロナウイルスの影響により中止となったため、2021年度にバンドの卒業生を集め、17年間に亘る事業の集大成としてファイナルコンサートを実施する。(1回予定)	420人	8月15日	パブリックシアター
ダンス公演	ダンス提携公演／育成	気鋭の若手カンパニーからベテランまで、選りすぐりのダンスカンパニーと提携し、現代演劇と舞踊を専門として上演する劇場のレパートリーの多様性を創出する。創作活動を支援しながら、演劇的な要素や、音楽、美術など、異なるジャンルのアートとの出会いを提案し、世田谷でしか生まれ得ない新しい舞台芸術の創造を目的とする。 【舞踊】 ・山海塾 ・ニブロール ・バオバブ 他	5,000人	通年	パブリックシアター /シアター tram
音楽公演	音楽提携公演	区民に芸術性に優れた音楽の鑑賞機会を提供し世田谷区の文化振興を図るため、優れた音楽グループ等と提携して音楽コンサートを実施する。 ・古武道 他	450人	通年	パブリックシアター
提携公演	演劇提携公演	気鋭の若手から長年の実績を誇るカンパニーまで、優れた演劇作品の上演実績がある劇団・ユニット・制作会社・団体等と提携し制作的な補助、広報宣伝協力等を行う。 【演劇】 ・M&O plays ・りゅーとぴあ ・シス・カンパニー ・イキウメ ・チョコレートケーキ ・iaku ・贅沢貧乏 ほか	25,000人	通年	パブリックシアター /シアター tram

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
コミュニティプログラム	演劇・ダンスワークショップ	<p>地域の人々が気軽に参加できるプログラムから、深く取り組むことのできるプログラムまで、多様な内容のワークショップを実施する。</p> <p>(1)「単発ワークショップ」1～2日単位で気軽に演劇や劇場を体験できるワークショップ。「(デイ・イン・ザ・シアター)」</p> <p>(2)「テーマ別ワークショップ」地域の課題等に演劇的手法を活用してアプローチしたり、劇場へのアクセスが阻まれている対象を設定して実施するワークショップ。「(乳幼児のためのWS)」「団地プロジェクト)」</p>	512人	通年	稽古場他
	子どものためのワークショップ	<p>子どもを対象に、以下の演劇・ダンスのワークショップを実施する。</p> <p>(1)「夏休みWS」子どもたちが参加しやすい学校の長期休暇に合わせたワークショップ。</p> <p>(2)「世田谷パブリックシアター演劇部」年間を通じて、じっくり演劇やダンスに取り組みたい中学生を対象に、1年を通して作品をつくり発表することを前提としたワークショップを実施。作品は世田谷区立中学校演劇発表会等で発表する。</p> <p>(3)その他単発ワークショップ「ごちゃまぜWS」</p>	670人	通年	稽古場他
	地域の物語	<p>区民を中心とした参加者たちが、現代社会が抱える課題に関連するテーマをもとに、取材をしたりする過程を通じて、自分たちの住む社会・暮らし・地域・そこに住む市井の人々について思考するワークショップを3ヵ月かけて実施する。最後には、作品としてまとめあげ、シアタートラムにて広く地域の観客に向けて上演する。(通年WS32日、発表会2回開催)</p>	参加者 640人 発表会 300人	通年	稽古場/シアター トラム他
学校とその他区内施設との連携プログラム	学校のためのワークショップ	<p>世田谷区内の小中学校の児童・生徒・教員を対象に、以下の2つの事業を実施する。</p> <p>(1)『ワークショップ巡回団』:進行役やアーティストが学校へ出向き、演劇的手法を用いた演劇ワークショップを実施する。教科の学びに活かしていくために、内容は教員と相談をしながら決定していく。中心は教科「日本語」の支援となる。</p> <p>(2)『先生のためのワークショップ』:小中学校の教員が授業で活用するためのヒントとなるワークショップや事業報告会を年間を通じて劇場内外で実施する。今年度は特別プログラムとして、学校の先生を対象にLGBTQをテーマにしたワークショップを行う。</p>	8,250人	通年	世田谷区内の各 小中学校/稽古場
	中学校演劇部支援	<p>世田谷区立中学校教育研究会演劇教育研究部と連携し、区立中学校演劇部の活動支援を行う。(通年12回予定)</p>	180人	通年	世田谷区内各小 中学校/区民会館 他

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
学校とその他 区内施設との 連携プログラム	区内施設連携プログラム	非営利の区内施設/団体(児童館、世田谷ボランティアセンター、障害者支援施設、病院等)に進行役を派遣して、演劇的手法を用いたワークショップを、当該施設/団体と協働して施設利用者及び近隣住民に向けて実施する。また、特別な支援を必要とする人々に対してワークショップを劇場稽古場もしくは区内施設で展開していく。(通年16回予定)	200人	通年	世田谷区内の施設/稽古場
	小学校古典芸能鑑賞教室 [区受託]	世田谷区立の小学校(全校)6年生を対象に、各学校体育館にて狂言ワークショップを実施。能狂言の発想や技能を体感し、日本固有の伝統芸能について関心を高める機会を提供する。(28回予定)	5,700人	6月～7月	世田谷区内 小学校体育館
	移動劇場「@ホーム公演」	劇場へなかなか足を運ぶことのできない、お年寄りや障害者が生活する場所へ、劇場から演劇を運んで上演する。観客は施設の利用者はじめ、家族、職員、近所に住む方々となる。プロの演出家、俳優が、誰にでも楽しんでもらえ、かつ移動可能なオリジナル作品をつくり、見ている人たちの目の前で演じる。また、音楽的要素を加えて、演じる人も見る人も一緒に楽しめる作品をめざす。(12回予定)	1,000人	6月～7月 (予定)	区内特別養護老人ホーム、デイサービス、障害者施設
研究育成プログラム	観客育成プログラム	地域住民及び観客を対象に、主催公演関連のワークショップや作品の分析・舞台芸術についての知識を深める企画を実施する。(通年8回予定) ①世田谷パブリックシアターダンス食堂:現役のダンサーを招き、その理念やメソッドに触れるワークショップ及びトーク ②舞台芸術のクリエイティブ:舞台芸術に対し批評的な視点を獲得し、その視野を広めるレクチャー及びゼミ	110人	通年	セミナールーム他
	専門家育成プログラム	学芸プログラムに興味のある大学生や進行役、研究者を対象に、人材育成を目的とした「SPTラボラトリー」を実施する。誰もが参加できる〈オープンラボ〉と、選抜された人々との〈演劇ワークショップラボラトリー〉から構成する。いずれもレクチャーやワークショップを組み合わせた実践形式のプログラムとする。(通年21回予定)	330人	通年	両劇場/稽古場/セミナールーム他
舞台技術者 人材育成プログラム	舞台技術講座	次世代を担う舞台技術者やプランナー、デザイナーを対象に、舞台・照明・音響各分野で未経験者及び経験者向けの安全講座、各分野別プログラムを実施する。初級編、中級編など段階ごとのプログラムを設ける。	250人	6月、 4年1月	パブリックシアター/ シアター tram
	舞台技術支援	劇場使用者等に対して、設備等の使用講習会を実施するとともに、プラン・オペレートや機材等の支援を行う。	—	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現の場の提供	フリーステージ	世田谷区民と劇場がともにつくりあげるゴールデンウィーク恒例企画。世田谷区内で活動する多くの区民団体にむけ、世田谷パブリックシアター及びシアターラムを開放し、日頃の活動の成果を披露していただく。劇場の活動を身近に感じることができる機会を提供することで、劇場への理解を深め、また、区内の幅広い層に向けた舞台・音楽活動活性化の推進を目指す。2021年度は感染症対策を考え、1日あたりの出演団体数を半数近くに減らし、開催日数を増やして対応予定。	2,000人	4月29日～5月5日	パブリックシアター/シアターラム
	子どもに向けた戯曲リーディング	「子どもに伝えたいこと」をテーマに、『子どもに向けたリーディング戯曲』を公募し、同じく公募により選出した若手演出家による上演・ワークショップを行う。若手実演家と観客が対話し思考していく協働の場を設けることで、観客には新たな視点の獲得を促すとともに、地域社会と演劇の繋がりを模索している若手実演家たちには、作品創造の機会と手段を手渡すことを目指す。(5回予定)	300人	12月7日～12日	シアターラム
地域活性化のための文化芸術事業	世田谷アートタウン2021『三茶de大道芸』	三軒茶屋の街を舞台に、商店街の各所で大道芸のパフォーマンスなどを行う。三軒茶屋の活性化と地域の文化向上を図るため、地元商店街や町会等との実行委員会方式により実施する。2日間開催。(文生センター全体事業)	200,000人	10月16日、17日	三軒茶屋駅周辺商店街他
劇場広報	劇場営業広報宣伝	営業・広報・宣伝活動を通じて、世田谷パブリックシアターの事業を世田谷区内外に広く周知し、地域の劇場/創造発信型劇場としての当劇場の存在意義を高めるブランディング活動とともに、マスコミへの情報提供、ホームページや広報誌などによる情報発信により、主催事業への集客を図り、財団の収益性の向上に資する活動を行う。	—	通年	—
	学芸共通広報宣伝	学芸で行われているワークショップ・レクチャー等の普及を進めるための広報物の作成や宣伝等の活動を、紙媒体ならびにHP(オンライン)を中心に展開する。	—	通年	—
	劇場雑誌の発行	各事業の成果を記載したアニュアルレポートを劇場雑誌として編集・発行する。2021年度は2020年度の事業を報告するための冊子を作成する。その他、必要に応じて事業ごとの活動を分析、記録、周知する劇場雑誌を編集・発行する。	1,000部	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
海外招聘・国際共同制作	国際共同制作ダンス 磨赤兒×フランソワ・シェニョー 『ゴールドシャワー』	<p>フランスを拠点に活躍する気鋭の若手振付家フランソワ・シェニョーと、舞踏の礎を築いてきた大駱駝艦主宰の磨赤兒による、日仏国際共同制作公演。2021年のオリンピック開催国である日本と次回の開催国であるフランスを拠点にそれぞれ活躍する振付家・ダンサーによる共同制作となる。</p> <p>日本で生まれた舞踏を世界のBUTOHとして紹介し国内外で尊敬を集めてきた磨赤兒と、パリ国立高等音楽・舞踊学校(コンセルバトワール)でクラシックバレエを専攻し、コンテンポラリーダンサーとして新しい地平を切り開いているフランスダンス界の旗手シェニョーのコラボレーションは、オリンピックの文化交流のレガシーを引き継ぐ、新時代の舞台創造を実現する。(3回予定)</p>	840人	10月15日～ 17日	パブリックシアター
	世田谷アートタウン2021 海外招聘公演 『フィアース5』	<p>2015年に発表され、今もカンパニー・ルーブリエ/ラファエル・ボワテルの代表作として上演されている『フィアース5』を、日本のダンサーやサーカスアーティストと共にリ・クリエイションし、日本の若者の現在を描く。世界の第一線で活躍するボワテルとのコラボレーションにより、日本のサーカスアーティストのレベルアップを図る。(3回予定)</p>	900人	10月9日～ 11日	パブリックシアター

(3)世田谷文化生活情報センター 音楽事業部

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
身近に親しむ演奏会	せたがやジュニアオーケストラ オータムコンサート	親しみやすい曲目と趣向を用意して、せたがやジュニアオーケストラの練習の成果を披露する。合奏練習の機会が限られるため、アンサンブル中心の発表を行う。	420人	未定	未定
	室内楽シリーズ	内外で活躍する演奏家による室内楽の演奏会シリーズ。ソプラノ歌手のリサイタル(11月)と「異分野とのコラボレーション」企画(4年3月)を実施する。	440人	11月20日 4年3月5日	成城ホール
	シリーズ和・華・調	日本の伝統音楽を、第一級の音楽家による演奏と、親しみやすい演出で堪能していただく公演シリーズ。今年度は、琉球民謡の演奏会を予定。	440人	5月29日	成城ホール
活動をつなぐ演奏会	連携コンサート	意義のある企画を選んで、他の団体と共同で開催するコンサート。多様な事業を展開し、演奏・鑑賞、双方の面から活動を活発化する。	未定	未定	未定
ワークショップ・講座	せたがや音楽研究所	スペシャル・プロデューサー宮川彬良が、奇想天外かつ独自の解釈で、音楽を紐解く、バラエティ形式で贈る人気のコンサート。内容を見直し、会場をより親密な空間に移して実施する。	270人	9月23日	北沢タウンホール
次の時代のためのプログラム	せたがやジュニアオーケストラ運営	子どもたちが、オーケストラ活動を通じ、情操や協調の精神を学び、豊かな人間性、社会性を身に付けることを目指す。楽器ごとのパート練習、全パートでの合奏練習などを年間通じて行う。	90人	通年	区内各所
	せたがやジュニアオーケストラ定期演奏会	1年間の活動の締めくくりとして開催する定期演奏会。本拠地・世田谷区民会館が改修工事中のため、川崎市で開催する。	850人	4年3月26日	ミュージア川崎シンフォニーホール
区民の表現の場の提供	世田谷アーティスト支援企画	世田谷区民の一流アーティストによる、世田谷区民に向けた、世田谷ならではの公演を実施する。これからの音楽を考え、これからの表現活動のきっかけをつくる。	290人	未定	玉川せせらぎホール
	世田谷区民音楽団体の支援 [区受託]	世田谷フィルハーモニー管弦楽団、世田谷区民合唱団、世田谷区民吹奏楽団、3団体の活性化、発展を側面から支援する。	3団体	通年	—
地域活性のための文化プロジェクト	せたがやまちかど・まちなかコンサート	区民が身近な地域で音楽を楽しめるよう、区内各所の比較的小規模の公共施設や街角などで、小編成バンドなどによるコンサートを実施する。	2,000人	5月15日他	北沢タウンホール、区内公共施設、街頭など
音楽事業部広報	「情報ガイド」をはじめとする各種広報活動	ホームページ、「せたおんイベント」や「情報ガイド」、さらにはマスコミ等への情報提供を通じ、事業予定・内容等を広く区民へ発信するほか、戦略広報としての展開を推進する。	—	通年	—

(4)世田谷文化生活情報センター 国際事業部

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
市民活動支援	せたがや国際交流センターの運営	主に、区内在住外国人の生活相談等の問い合わせに対する窓口案内などを行う。また、行政情報、生活・文化情報の他、国際交流などの地域活動団体の紹介を行う。	2,400人	通年	せたがや国際交流センター
	区内活動団体の支援事業	区内で多文化共生、国際交流、国際貢献活動をしている団体に対して、事業のPRや事業連携を行う。	20団体	通年	せたがや国際交流センター
国際交流・異文化理解の推進	区民国際交流事業	【せたがや国際メッセ】 区民が多様な文化を知り・触れることができ、参加・出展する区民団体等の活動をPRする場を提供する「せたがや国際メッセ」を区と共催で実施する。	1,000人	11月6日	セミナールーム他
		【国際交流inせたがや】 区民と海外の人々の交流を目的とする事業「国際交流inせたがや」を、海外・国際研修旅行の参加者で結成された世田谷海外研修者の会と共催で実施する。	300人	4年2月19日	調整中
	外国人のためのまち歩きツアー	文化施設や商店街、様々な地域イベントをめぐるツアー、オリンピック・パラリンピック関連施設などを巡るツアーを企画し、世田谷区在住の区民や外国人が地域の魅力を発見し、交流することで地域で活動するきっかけをつくる。	未定	未定	区内文化施設や商店街など
ワークショップ・講座	多文化理解講座	外国人との交流を希望する在住外国人を含む区民を対象に、様々な国の文化などを学ぶことができる講座を実施する。			
	①在住外国人による母国と日本の違いを笑いを交えながら学ぶ(仮)	フランス人落語パフォーマーによる、フランスと日本の違いを落語を交えながら楽しく学ぶ講座を実施する。	40人	5月15日	セミナールーム
	②国際交流団体による在住外国人と日本人との交流の話(仮)	東京YWCAによる「留学生の母親」運動の話し。日本人の母親メンバーと留学生、それぞれの話を聞くことで外国人との交流を学ぶ講座を実施する。	40人	6月19日	セミナールーム

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	③オリンピック・パラリンピックに関連する講座(仮)	検討中	40人	7月17日	セミナールーム
	④子育て世代を対象とした講座(仮)	日本人の子どもをもつ親と外国人の子どもをもつ親が、互いに学ぶ異なる国の教育と子育てについて学ぶ講座を実施する。	40人	8月21日	セミナールーム
	⑤やさしい日本語を学ぶ(仮)	日本語を学んでいる外国人にも伝わりやすい「やさしい日本語」を学ぶ講座、やさしい日本語で話すコツを楽しく学ぶ講座を実施する。	40人	9月11日	セミナールーム
	⑥外国人支援のために必要なスキル、マインドについて(仮)	外国人を支援するにあたって必要なスキルやマインドを育てるには何が大切かを学ぶ。ボランティア活動をするきっかけとなる講座を実施する。	40人	10月9日	セミナールーム
	⑦国際交流団体による在住外国人と日本人との交流の話(仮)	多文化共生、国際交流などの活動をしている団体の実情を聞くことができる講座を実施する。	40人	11月27日	セミナールーム
	⑧在住外国人による母国と日本の違いを学ぶ(仮)	在住外国人が、日本で暮らしてきて体験したこと、感じたことなどを聞くことができる講座を実施する。	40人	12月18日	調整中
	日本語交流会	区実施の日本語教室に参加した外国人が、日本人と日本語で話しをすることで、学んできた日本語を実践するとともに、文化の違いを超えたつながりを作る交流の場になる場を提供する。	未定	調整中	調整中
国際事業部 広報	国際事業部広報	せたがや国際交流センターの施設案内、国際事業部の事業などを情報発信する。また国際交流活動や地域活動などを実施する団体情報、外国人への生活に役立つ情報なども併せて発信する。 (ホームページ、Facebook、Twitter、情報ガイド、メールマガジン、ニュースレター)	—	通年	—

(5)世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	アイノとアルヴァ 二人のアアルト フィンランドー建築・デザインの神話	モダニズム建築の国際的な巨匠のひとりと考えられる建築家、アルヴァ・アアルト(1898-1976)。アアルト建築のエッセンスの確立には、最初の妻であるアイノ・アアルト(1894-1949)の存在と影響が大きく寄与していた。アイノの仕事と、互いの才能を認め合い補完しあったアルヴァとの関係性を、アルヴァ・アアルト財団およびアルヴァ&アイノ・アアルトエステート所蔵の作品資料により展覧する。なお本展は、公益財団法人ギャラリーエークウッドの企画協力により国内で当館他1館を巡回する。	26,250人 (総計:30,000人)	(3月20日)～ 6月20日	世田谷美術館
	塔本シスコ展 シスコ・パラダイス かかずにはいられない！ 人生絵日記	塔本シスコ(1913-2005)は熊本県に生まれ、父親の夢であったサンフランシスコ行きにちなんでシスコと命名された。本展では、専門的な美術教育を受けずに制作を続けたシスコの1960年代から絶筆まで、油彩画約100点を中心に構成する。そのほか、自作の人形や、ガラス瓶に描いた作品も展示し、身の回りのすべてを素材とした塔本シスコの描くことへの飽くなき意欲をご覧いただける内容とする。なお本展は本館を含む4館巡回展として開催する。	15,000人	9月4日～ 11月7日	世田谷美術館
	【米国ホストタウン関連事業】 生誕160年記念グランマ・モーゼス展 ー素敵に100年人生	アメリカの国民画家とも言われる素朴画家グランマ・モーゼス(1860-1961)は、70代にして絵筆をとり、自分の住む村を取り囲む自然や農村に生きる人々の生活を描いた。2020年には生誕160年を迎え、彼女を支援してきたギャラリー・セント・エティエンヌの全面的な協力のもと、約130点の油彩及び資料を展示し、101歳まで長寿を得て創作にいそしんだ女性の生涯を改めて紹介する。開館以来素朴絵画を収集展示してきた当館が幹事館となり、全国5会場で開催予定。東映株式会社、朝日新聞社、BS-TBSと共催。	63,000人	11月20日～ 4年2月27日	世田谷美術館
	ハッピー・バースデー！ ピーター・ラビット展	世界中で愛される最も有名なうさぎピーター・ラビットは、イギリスの挿絵画家ビアトリクス・ポターによって1902年に生まれた。本展はその生誕120年を記念して企画される。絵手紙、原画、スケッチなど日本初公開となる貴重な作品を英国及びアメリカより借用し、展示する。また、120年にわたって愛されてきた彼の関連資料、グッズなども紹介し、広い世代にわたって人気を誇るその魅力に迫る。当館開催後、全国2会場へ巡回予定。東映株式会社、朝日新聞社ほかとの共催。	4,000人 (総計:60,000人)	4年3月26日 ～ (6月19日)	世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
調査・研究	調査・研究 ①企画展	次年度以降の企画展の立案・具体化のため、国内外各所との交渉や基礎的な調査研究を行う。	—	通年	世田谷美術館
	②収蔵品等 [指定管理]	収蔵品及び美術館活動に係る調査・研究を行う。学芸員による調査研究成果を『紀要』として編集発行し、美術研究に資する。	350冊	通年	世田谷美術館及び分館
	アーカイブ [指定管理]	本年度の事業のまとめとして『年報』を編集発行し、美術館活動を総括し、記録する。	300冊	通年	世田谷美術館
収蔵品展	美術館 ミュージアム コレクション [指定管理]	世田谷美術館の収蔵作品を、テーマを設定して公開する。 第Ⅰ期 驚異の三人！！高松次郎・若林奮・李禹煥——版という場所で	30,000人	4月17日～ 6月13日	世田谷美術館
		【オリンピック・パラリンピック関連事業】 ミュージアム コレクション特別篇 グローバル化時代の現代美術 ——“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行		7月3日～ 8月22日	世田谷美術館
		第Ⅱ期 〈それぞれのふたり〉「大沢昌助と建島寛造」		9月11日～ 11月21日	世田谷美術館
		第Ⅲ期 ART MUSIC NO MUSIC、NO LIFE		12月4日～ (4年4月10日)	世田谷美術館
	向井潤吉アトリエ館収蔵品展 [指定管理]	向井潤吉作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 生誕120年 向井潤吉の歩みと作品Ⅰ	8,100人	4月1日～ 9月26日	向井潤吉アトリエ館
		第Ⅱ期 生誕120年 向井潤吉の歩みと作品Ⅱ		10月16日～ 4年3月13日	
	清川泰次記念ギャラリー収蔵品展 [指定管理]	清川泰次作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 清川泰次 線と立体表現	2,420人	4月1日～ 9月26日	清川泰次記念ギャラリー
第Ⅱ期 清川泰次 水のある風景と昭和の人々		10月16日～ 4年3月13日			

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
収蔵品展	宮本三郎記念美術館収蔵品展 [指定管理]	宮本三郎作品にかかわる作品展を年2回実施する。 第Ⅰ期 宮本三郎、画家としてⅠ：はじまりから 戦争を経て 1920s－1950s	3,600人	4月1日～ 9月26日	宮本三郎記念美術館
		第Ⅱ期 宮本三郎、画家としてⅡ：混沌を貫け、花開く絵筆 1950s－1970s		10月16日～ 4年3月13日	
資料収集・管理	資料収集 [指定管理]	貴重な美術作品及び美術に関する資料を、世田谷区民の文化的財産として蓄積していくため、区と共に収集委員会条例に基づき、美術品等を収集する。現在、作品の購入はないが、作家本人や区民から寄贈の申し出があり、収集する機会が生ずる。これらの機会を的確にとらえ調査を行い、収集委員会への提案に結び付けていく。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	作品保管整理 [指定管理]	収蔵品を保管・整理し、いつでも展示・公開できるように作品のコンディションを良い状態に保つ。問題が生じた作品は修復や額装改善などの処置を施す。作品のデータについては収蔵品管理システムを活用し、一括管理する。また、収蔵品の公開の機会を増やすため、貸付要領に基づき作品の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
アートライブラリーの運営	アートライブラリーの運営 [指定管理]	世田谷美術館が所蔵している美術専門書の閲覧やビデオの視聴、またレファレンスサービス等による情報提供を行う。	12,000人	通年	世田谷美術館
ワークショップ・講座	講座・ワークショップ	新型コロナウイルスが収束していない可能性を考慮しながら、美術と創造の普及を目的とした各種講座、企画展に関連した講座、子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とした単独開催形式の講座を開催する。どなたでも気軽に参加できる100円ワークショップ、実技の体験を目的とした講座や小中学生を対象に連続した実技と講義で美術を学ぶ講座を開催する。また、ギャラリートーク・講演会・ワークショップ・コンサート、ホームページからの動画配信など様々な普及活動を行う。	1,545人	通年	世田谷美術館及び分館
	美術大学	長期の本科は開催せず、小人数を対象とした講義・実技を組み合わせた短期セミナーを年2回開催。その他、ホームページからの動画配信などを通じての通信講座を引き続き開催する。また修了者を対象としたステップアップ講座も規模を縮小して開催する。	120人	通年	世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
ワークショップ・講座	パフォーマンス				
	①プロムナード・コンサート	美術館を音楽による交流の場とするとともに、若手音楽家の育成を図ることを目的に、実力ある若手を中心とする音楽家によるリサイタル形式のコンサートを行う。	80人	年2回	世田谷美術館
	②パフォーマンス等イベント	当館の建築空間を活かしたイベントを実施する。新型コロナウイルスが収束していない可能性を考慮し、ハイレベルな記録写真や映像を撮影し、オンラインで動画を配信することで一層幅広い観客層の関心に応える。	760人(うち配信700人)	年1回	世田谷美術館
子どもと学校プログラム	美術鑑賞教室	世田谷区教育委員会との連携により、世田谷区立の小学校4年生の児童、中学校の生徒を対象に、展覧会及び美術館内の施設見学を実施する。また特別プログラムでは、当館インターンによる区立小学校への出張授業を行う。(美術鑑賞教室は小中学校全90校)	17,300人	通年	世田谷美術館他
人材育成プログラム	学校との連携	学芸員後継者育成と美術館諸活動の普及のために、博物館学実習の講義、実習を行う。(8日間) 長年の実績がある学芸大学インターン生を育成し、美術鑑賞教室で来館する区内小学校4年生への事前(事後)出張授業を行う特別プログラムを実施(小学校希望校約30校を予定)。 区内の各地域や学校と連携、コラボレーションし、世田谷美術館のコレクションを活用したワークショップや創作活動を実施する。 今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため従来の活動を大幅に改定する必要があり、リモートで実施可能な普及活動の展開も行っていく。	20人	通年	世田谷美術館、区内小中学校、大学他
アクセシビリティ向上事業	アクセシビリティ向上事業	展覧会に関連した講演会において、より良い理解を目的として、手話通訳を手配し、配置する。	10人	通年	世田谷美術館
	ミュージアム・セッション	視覚障害者と晴眼者がともに美術を鑑賞し、豊かなコミュニケーションを育むという新しい実践及び研究に関する講演会等をオンラインで配信する。海外の事例のみならず国内の事例の紹介も行っていく。	300人	年1回	世田谷美術館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現の場の提供	区民展	世田谷区もしくは川場村在住・在勤・在学者を対象に、作品の募集を行い、審査の上、入賞・入選作品を区民ギャラリーにて展示する。	250人	10月～4年1月	世田谷美術館
	区民ギャラリー等の貸出 [指定管理]	世田谷美術館及び清川泰次記念ギャラリーにおいて、創作活動発表の場として区民ギャラリーの貸出を行う。			
	①美術館(本館)区民ギャラリー	創作活動発表の場として、世田谷美術館の区民ギャラリーA・B貸出を行う。	75,000人	通年	世田谷美術館
	②美術館(本館)講堂	文化・芸術に関する活動・発表の場として、美術館活動に支障のない範囲で世田谷美術館の講堂貸出を行う。	1,300人	通年	世田谷美術館
	③清川泰次記念ギャラリー区民ギャラリー	創作活動発表の場として、清川泰次記念ギャラリーの区民ギャラリー貸出を行う。	4,000人	通年	清川泰次記念ギャラリー
地域活性のための文化芸術事業	ボランティア活動	世田谷区立小学校鑑賞教室及び出張授業、中学校鑑賞教室、川場村小学校出張授業、ミュージアム・ツアー、ワークショップ、イベント等の支援を行う。	250人	通年	世田谷美術館他
	【米国ホストタウン関連事業】 日米芸術家交換プログラム コラボレーション2020	世田谷区がアメリカのホストタウンであることから、世田谷区、日米友好基金、全米芸術基金との共催事業として、アメリカのアーティストを招聘。区民ギャラリーで、アーティストと区民が交流できる展覧会を開催する。	1,500人	7月27日～8月8日	世田谷美術館
美術館広報	美術館広報	当館ウェブサイトや印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。	—	通年	—
	ニュースレター(美術館だより、友の会だより)等の発行	ニュースレター(美術館だより、友の会だより。年3回、6月・10月・4年2月発行、各1,500部)、年間予定表(4年3月発行、50,000部)の発行を行う。	54,500部	6月、10月、4年2月、3月	—

(6)世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
企画展事業	イラストレーター 安西水丸展	イラストレーターとして出版や広告など多方面で活躍する一方、旅・映画・食にまつわるエッセイや、創作小説、絵本、漫画など、幅広い分野で才能を発揮した安西水丸(1942～2014)。 本展では各分野における仕事を展示紹介し、幼少期から晩年に至るまでの足跡をたどるとともに、親しく交流し、共著・共作も多い、嵐山光三郎、村上春樹、和田誠との創作活動を大きく取り上げ、約500点の資料からその全貌に迫る。安西の国内外の旅に焦点を当てたコーナーも特設する。	15,000人	4月24日～ 8月31日	世田谷文学館
	谷ロジロー展	『坊ちゃん』の時代、「孤独のグルメ」などの代表作で知られ、日本はもとよりフランス、イタリアなどのヨーロッパ、中国語圏をはじめとするアジアの国々でも多くの読者を持つマンガ家・谷ロジローの作品世界を紹介する大規模個展。 緻密な作画、構成によって描き出される作品は、原作者との協働でもオリジナルでも、谷ロジローならではの世界、時空間に読者を惹きこむ力に満ちている。深い読後感を残す谷口作品は海外でも大人の読者に堪える芸術として文学に比されて語られることも多く、日本マンガの成熟を象徴する存在としても改めて顕彰する。	14,000人	10月16日～ 2月27日	世田谷文学館
調査・研究	調査・研究 [指定管理]	文学館活動の基盤となる収蔵コレクション及び世田谷ゆかりの作家・ゆかりの作品の調査・研究を行う。25周年記念コレクション展にもその内容を活用する。	—	通年	世田谷文学館
収蔵品展	コレクション展 [指定管理]	文学館コレクション展示室で、世田谷を舞台にした文学作品の関連資料と、ゆかりの文学者の資料を展示し、区民に広く文学に親しむ機会を提供する。前後期それぞれテーマを決め、ゆかり作家と館蔵資料を幅広く紹介する。 本年度前期は、2年度後期として予定したが新型コロナウイルスの影響により延期となった、元年度に寄贈を受けた昭和文学を代表する作家・石川淳の貴重な原稿や執筆メモ、交流した文学者、研究者からの書簡などを紹介する。 後期は、2年度に一部実施できなかった開館25周年記念事業の一環として当館の多彩なコレクションを基に複数の作家たちの創作と人生のエピソードを紹介し、世田谷ゆかりの作家に一層関心を深める内容で開催する。	22,000人	4月24日～ 4年3月31日	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
資料収集・管理	資料収集・管理 [指定管理]	世田谷ゆかりの作家や区民等からの寄贈・寄託により、文学資料等の収集を行う。世田谷区が所有している作品を系統的に整理するとともに、良好な状態で保存・展示するため保管管理し、計画的に調査を進める。保管環境の維持・向上のため、展示室・収蔵庫および周辺部の環境確認のための環境調査のモニタリングを年間を通じて実施する。災害等緊急時のコレクション保護のための環境整備を行う。また、貸付要領に基づき、コレクションの貸付を行う。逼迫した課題である収蔵庫狭小化対応のため引き続き収蔵資料の保管場所の見直しと保管場所確保のための2階3階両収蔵庫の整理作業を行う。	—	通年	世田谷文学館
OAシステム	OAシステムの運用 [指定管理]	世田谷文学館の収蔵資料を適切に管理し、活用・公開を促進するために収蔵品管理システムの管理運営を行う。またホームページ上での主要収蔵資料の検索サービスに関しても、その内容を段階的に拡充する。	—	通年	世田谷文学館
地域連携事業	どこでも文学館	「いつでも、どこでも、だれでも参加できる博物館」というコンセプトのもと、館内では、オンラインも活用し子ども向けワークショップやワークシート制作などのプログラムを開発、実施する。館外では、学校や地域と連携しながら写真展や文学作品のパネルなどの出張展示・出張ワークショップを実施する。新規出張展示キット制作も行い、貸出対象を全国に拡大する。(出張展示20回、ワークショップ延べ16回を実施予定)。	60,000人	通年	世田谷文学館、区内小中学校、区民センター、川場村など
	幼保連携 [区受託]	世田谷区教育委員会の「世田谷区幼児教育・保育推進ビジョン」の基本方針の一つである「文化・芸術とふれあうための各園等における環境づくり支援」の一環として、乳幼児を対象とした文化・芸術体験のアウトリーチ事業と連携するため、世田谷文学館が制作した出張展示用バナーセットの展示を、当委員会から委託を受け実施する。	200人	通年	区内幼稚園・保育園など
講演会等事業	企画展・コレクション展、ライブラリー関連講演会、上映会、コンサート等事業	企画展・コレクション展やライブラリー事業と連動したトークイベント、講座、コンサート、上映会、ワークショップなどを実施し、乳幼児も含めた幅広い層の来場者に文学館のさまざまな楽しみ方を提案する。昨年度より計画的に実施してきたオンラインイベントも継続で実施し、新規の利用者の参加にもつなげる。	2,000人	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
講演会等 事業	セタブンマーケット 2021	書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を発信する、本と雑貨の蚤の市。作家・デザイナー・編集者からの特別出品や、子どもも楽しめるミニワークショップなど、世田谷文学館独自の内容で開催。3年度は2回開催。6月には「イラストレーター 安西水丸展」と連動し、作品世界ともなじみのよい雑貨店やセレクト書店の出店やイベントを実施。10月には開館25周年を記念して、世田谷文学館ゆかりの作家たちに関連するグッズ販売や、イベントを開催する。(新型コロナウイルスの拡大状況を見ながら規模・内容を検討)	2,000人	6月・10月	世田谷文学館
	開館25周年記念イベント	世田谷文学館開館25周年を記念し、今までの活動の成果をあらわすイベントや、今後の活動の布石となる催しを行う。延期となった東京2020大会に合わせ、日本と台湾のスポーツ交流について紹介する台湾交流事業とも連動させながら実施する。 また、世田谷文学館の多彩なコレクションを紹介する「開館25周年記念コレクション展(仮)」と連動した記念冊子を作成する。	2,000人	9月	世田谷文学館
活動支援・共 催事業	市民活動・友の会の支援など	友の会をはじめ、文学活動を中心とする区内外の団体の講座や活動を支援し、市民の生涯学習の要望に応える。	1,000人	通年	世田谷文学館他
人材育成 プログラム	学芸員実習	学芸員後継者育成のために、博物館学実習の講義・実習を行う。(6日間)	5人以内	7月～8月	世田谷文学館
	職場体験などの受入	参加者は博物館の仕事全般を学び、事業の企画や実施にも直接携わることができるプログラムで、近隣の中学校などから希望があれば職場体験を受け入れる。(コロナ禍の職場体験の代替え処置として、施設見学を受け入れる)	30人	通年	世田谷文学館
ライブラリーの 運営	ライブラリー「ほんとわ」の運営 [指定管理]	授乳室などのベビーケア設備を備えた子どものための本のエリアや、各分野で活躍するプロフェッショナル、作家が薦める本のコーナーなど、書物との新たな出会いと多様な楽しみ方を提案し、地域のための図書空間を企画・運営する。3階閲覧室においては、収蔵している閉架資料の閲覧サービスを行う。	15,000人	通年	世田谷文学館

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
区民の表現の場の提供	第36回 世田谷文学賞	区民の創作活動の発表の場として、詩・短歌・俳句・川柳・エッセイ作品を募集し、上位入賞作品は冊子「文芸せたがや」等に掲載する。	—	(予定) 募集9月 表彰3月	—
文学館広報	文学館広報	ホームページや印刷物のほか、マスコミ等の媒体への情報提供を通じて、館の活動や事業予定・内容等について広く区民等へ発信する。 本年度は特に、HPのリニューアルに取り組み本格稼働させると共に、SNS等による情報発信の充実を図る。	—	通年	—
	文学館ニュースの発行	文学館の事業活動を広く周知するため、文学館ニュースを年2回発行する。	各10,000部	通年	—

(7)財団共通

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
来館者サポート	来館者サポート	<p>様々な状況にあるお客様の参加機会を増やすために、公演などにおいて来館者サポートを行う。</p> <p>生活工房 ①車椅子の貸出 ②授乳室の利用など</p> <p>世田谷パブリックシアター ①託児サービス ②車椅子サービス(貸出、スペースの確保、車椅子昇降機など) ③視覚障害者のための音声案内システム付き化粧室の設置 ④視覚障害者のための舞台説明会(主催公演のみ) ⑤補助犬を伴っての観劇(スペースの確保など) ⑥視覚障害者のための音声ガイド(特定の公演のみ) ⑦聞こえにくい方向けのヒアリングサポートシステム(特定の公演のみ) ⑧聴覚障害者のための上演台本貸出 ⑨聴覚障害者のための手話動画(劇場HP)によるアクセス案内及びチケット購入方法等の案内 ⑩聴覚障害者のための筆談具設置 ⑪多言語字幕付き上演(特定の公演のみ) ⑫多言語情報発信 ⑬非常時の避難方法及び広域避難場所への地図の配布など</p> <p>美術館 ①講演会での手話通訳 ②車椅子の貸出 ③ベビーカーの貸出 ④授乳室の利用など</p> <p>文学館 ①車椅子の貸出 ②ベビーカーの貸出 ③授乳室の利用 ④託児サービスの実施など</p>	—	通年	—
	せたがやアーツカード	<p>世田谷区民を対象とする会員制度。主に財団主催の公演チケットの割引・先行発売や展覧会チケットの割引などの特典により、財団事業や施設利用者の拡大を図る。会員向けのメールマガジン発行による情報提供を行う。</p>	登録者数 18,000人	通年	—

事業名	個別事業名	事業内容	計画人数等	実施日等	実施場所
財団広報	財団広報	財団ホームページ等により、財団及び事業内容等を紹介する。	—	通年	—
	せたがや文化・スポーツ情報ガイドの発行	財団各部の事業内容等を広く区民等に周知するため、(公財)世田谷区スポーツ振興財団と共同で毎月25日にタブロイド版の情報紙を発行、区内施設での配架の他、区報に同冊し新聞(6紙)折り込み配布も行う。	毎月 221,500部	通年	—
文化芸術の拠点施設の管理運営	世田谷文化生活情報センターの施設維持管理 [指定管理]	世田谷文化生活情報センター施設維持管理、主劇場、小劇場、生活工房セミナールーム、ワークショップルーム等の貸出を行う。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	世田谷美術館及び分館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷美術館及び3分館(向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館)の施設維持管理、区民ギャラリー及び講堂の貸出を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	世田谷文学館の施設維持管理 [指定管理]	世田谷文学館の施設維持管理、講義室の貸出を行う。	—	通年	世田谷文学館
物品販売事業	パブリックシアター関連商品の販売	世田谷パブリックシアターとシアター tram で上演された公演のパンフレットや映像化したDVD等の関連商品を、劇場やオンラインショップにて販売する。	—	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館ミュージアムショップの運営	美術館・分館のミュージアムショップを運営する。収蔵作品をモチーフとしたオリジナルグッズ・絵葉書等の開発・制作及び販売、また企画展開催時における関連グッズ・絵葉書・書籍等の販売を行う。	—	通年	世田谷美術館及び分館
	文学館ミュージアムショップの運営	ミュージアムショップを運営し、展覧会に関連した書籍や絵葉書等のグッズの販売を行う。	—	通年	世田谷文学館
飲食物提供事業	パブリックシアターのロビーカフェの運営	世田谷パブリックシアターのロビーのカフェを委託により運営する。	10,000人	通年	世田谷文化生活情報センター
	美術館のレストランの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」を委託により運営する。	20,000人	通年	世田谷美術館
	美術館のカフェの運営	世田谷美術館内のカフェ「セタビカフェ」を委託により運営する。	30,000人	通年	世田谷美術館

※新型コロナウイルスの今後の状況次第で変更や中止となる場合があります。

収支予算書

1. 収支予算（損益計算書ベース）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

（単位：円）

科 目		令和3年度a	令和2年度b	増減a-b
I	一般正味財産の部			
1	経常増減の部			
	(1) 経常収益			
	基本財産運用益	4,268,000	4,248,000	20,000
	基本財産運用益	4,268,000	4,248,000	20,000
	特定資産運用益	967,000	836,000	131,000
	特定資産運用益	967,000	836,000	131,000
	事業収益	1,212,882,000	1,290,665,000	△ 77,783,000
	事業運営収益	655,894,000	731,325,000	△ 75,431,000
	区事業等受託収益	556,988,000	559,340,000	△ 2,352,000
	受取区補助金	1,313,670,000	1,402,108,000	△ 88,438,000
	受取区補助金	1,313,670,000	1,402,108,000	△ 88,438,000
	受取助成金等	144,240,000	228,959,000	△ 84,719,000
	受取助成金等	144,240,000	228,959,000	△ 84,719,000
	受取寄附金等	500,000	881,000	△ 381,000
	受取寄附金等	500,000	881,000	△ 381,000
	受取負担金	16,288,000	17,953,000	△ 1,665,000
	受取負担金	16,288,000	17,953,000	△ 1,665,000
	雑収益	165,000	159,000	6,000
	受取利息	165,000	159,000	6,000
	経常収益計	2,692,980,000	2,945,809,000	△ 252,829,000
	(2) 経常費用			
	事業費	2,730,033,000	2,990,252,000	△ 260,219,000
	給料手当等	836,125,000	823,467,000	12,658,000
	退職給付費用	26,165,000	22,225,000	3,940,000
	交際費	432,000	494,000	△ 62,000
	式典費	665,000	1,856,000	△ 1,191,000
	会議費	786,000	871,000	△ 85,000
	旅費交通費	8,331,000	8,587,000	△ 256,000
	通信運搬費	14,519,000	16,193,000	△ 1,674,000
	消耗経費	38,568,000	41,008,000	△ 2,440,000
	印刷製本費	35,641,000	60,159,000	△ 24,518,000
	保険料	4,806,000	7,835,000	△ 3,029,000
	修繕費	25,420,000	26,045,000	△ 625,000
	光熱水費	10,180,000	10,202,000	△ 22,000
	諸謝金	41,904,000	51,040,000	△ 9,136,000
	支払負担金	51,006,000	52,375,000	△ 1,369,000
	委託費	827,497,000	894,887,000	△ 67,390,000
	使用料及び賃借料	61,117,000	63,293,000	△ 2,176,000
	支払手数料	19,518,000	17,282,000	2,236,000
	広報宣伝費	77,686,000	94,983,000	△ 17,297,000
	臨時雇賃金	82,730,000	94,404,000	△ 11,674,000
	上演出演料	295,439,000	338,906,000	△ 43,467,000
	舞台費	152,023,000	191,140,000	△ 39,117,000
	制作企画費	72,803,000	105,339,000	△ 32,536,000
	減価償却費	27,935,000	26,161,000	1,774,000
	商品仕入	5,115,000	20,000,000	△ 14,885,000
	租税公課	13,622,000	21,500,000	△ 7,878,000

(単位:円)

科 目		令和3年度a	令和2年度b	増減a-b
	管理費	16,666,000	14,086,000	2,580,000
	報酬	13,023,000	10,538,000	2,485,000
	給料手当等	2,087,000	1,865,000	222,000
	退職給付費用	671,000	570,000	101,000
	通信運搬費	50,000	90,000	△ 40,000
	消耗経費	11,000	10,000	1,000
	保険料	30,000	17,000	13,000
	委託費	270,000	432,000	△ 162,000
	使用料及び賃借料	18,000	27,000	△ 9,000
	減価償却費	506,000	537,000	△ 31,000
	経常費用計	2,746,699,000	3,004,338,000	△ 257,639,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 53,719,000	△ 58,529,000	4,810,000
	法人税、都民税及び事業税	565,114	998,363	△ 433,249
	当期一般正味財産増減額	△ 54,284,114	△ 59,527,363	5,243,249
	一般正味財産期首残高	661,563,719	693,750,502	△ 32,186,783
	一般正味財産期末残高	607,279,605	634,223,139	△ 26,943,534
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	800,000,000	800,000,000	0
	指定正味財産期末残高	800,000,000	800,000,000	0
III	正味財産期末残高	1,407,279,605	1,434,223,139	△ 26,943,534

※ 令和3年度一般正味財産期首残高は、令和元年度期末の実績額と令和2年度の見込額に基づいて算出しているため、本表における令和2年度一般正味財産期末残高とは一致しない。なお、令和3年度一般正味期首残高を令和2年度予算の一般正味期末残高とした表は下記の通り。

科 目		令和3年度a	令和2年度b	増減a-b
	当期一般正味財産増減額	△ 54,284,114	△ 59,527,363	5,243,249
	一般正味財産期首残高	634,223,139	693,750,502	△ 59,527,363
	一般正味財産期末残高	579,939,025	634,223,139	△ 54,284,114

2. 収支予算内訳表(損益計算書ベース)

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
I 一般正味財産の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	基本財産運用益	0	0	0
	特定資産運用益	967,000	0	967,000
	特定資産運用益	967,000	0	967,000
	特定資産運用益	967,000	0	967,000
	事業収益	1,189,471,000	275,000	1,189,746,000
	事業運営収益	632,483,000	275,000	632,758,000
	事業運営収益	632,483,000	275,000	632,758,000
	区事業等受託収益	556,988,000	0	556,988,000
	指定管理受託収益	496,518,000	0	496,518,000
	区事業受託収益	60,470,000	0	60,470,000
	受取区補助金	1,260,577,000	41,030,000	1,301,607,000
	受取区補助金	1,260,577,000	41,030,000	1,301,607,000
	受取区補助金	1,260,577,000	41,030,000	1,301,607,000
	受取助成金等	144,240,000	0	144,240,000
	受取助成金等	144,240,000	0	144,240,000
	受取助成金	144,240,000	0	144,240,000
	受取寄附金等	500,000	0	500,000
	受取寄附金等	500,000	0	500,000
	受取寄附金	500,000	0	500,000
	受取負担金	10,026,000	0	10,026,000
	受取負担金	10,026,000	0	10,026,000
	受取負担金	10,026,000	0	10,026,000
	雑収益	165,000	0	165,000
	受取利息	165,000	0	165,000
	受取利息	165,000	0	165,000
	経常収益計	2,605,946,000	41,305,000	2,647,251,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
0	0	0	4,268,000		4,268,000
0	0	0	4,268,000		4,268,000
0	0	0	4,268,000		4,268,000
0	0	0	0		967,000
0	0	0	0		967,000
0	0	0	0		967,000
19,495,000	3,641,000	23,136,000	0		1,212,882,000
19,495,000	3,641,000	23,136,000	0		655,894,000
19,495,000	3,641,000	23,136,000	0		655,894,000
0	0	0	0		556,988,000
0	0	0	0		496,518,000
0	0	0	0		60,470,000
0	0	0	12,063,000		1,313,670,000
0	0	0	12,063,000		1,313,670,000
0	0	0	12,063,000		1,313,670,000
0	0	0	0		144,240,000
0	0	0	0		144,240,000
0	0	0	0		144,240,000
0	0	0	0		500,000
0	0	0	0		500,000
0	0	0	0		500,000
336,000	5,926,000	6,262,000	0		16,288,000
336,000	5,926,000	6,262,000	0		16,288,000
336,000	5,926,000	6,262,000	0		16,288,000
0	0	0	0		165,000
0	0	0	0		165,000
0	0	0	0		165,000
19,831,000	9,567,000	29,398,000	16,331,000		2,692,980,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
(2) 経常費用				
事業費		2,662,909,000	41,336,000	2,704,245,000
	給料手当等	811,647,000	23,274,000	834,921,000
	退職給付費用	26,165,000	0	26,165,000
	交際費	422,000	10,000	432,000
	式典費	665,000	0	665,000
	会議費	786,000	0	786,000
	旅費交通費	8,131,000	200,000	8,331,000
	通信運搬費	13,253,000	163,000	13,416,000
	消耗経費	35,958,000	2,063,000	38,021,000
	印刷製本費	35,620,000	21,000	35,641,000
	保険料	4,707,000	99,000	4,806,000
	修繕費	24,680,000	740,000	25,420,000
	光熱水費	3,930,000	0	3,930,000
	諸謝金	41,266,000	638,000	41,904,000
	支払負担金	50,596,000	410,000	51,006,000
	委託費	808,151,000	11,603,000	819,754,000
	使用料及び賃借料	57,680,000	897,000	58,577,000
	支払手数料	18,564,000	0	18,564,000
	広報宣伝費	76,906,000	758,000	77,664,000
	臨時雇賃金	82,377,000	353,000	82,730,000
	上演出演料	295,439,000	0	295,439,000
	舞台費	152,023,000	0	152,023,000
	制作企画費	72,727,000	76,000	72,803,000
	減価償却費	27,597,000	31,000	27,628,000
	商品仕入	0	0	0
	租税公課	13,619,000	0	13,619,000

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
19,028,000	6,760,000	25,788,000			2,730,033,000
1,013,000	191,000	1,204,000			836,125,000
0	0	0			26,165,000
0	0	0			432,000
0	0	0			665,000
0	0	0			786,000
0	0	0			8,331,000
1,000,000	103,000	1,103,000			14,519,000
515,000	32,000	547,000			38,568,000
0	0	0			35,641,000
0	0	0			4,806,000
0	0	0			25,420,000
241,000	6,009,000	6,250,000			10,180,000
0	0	0			41,904,000
0	0	0			51,006,000
7,743,000	0	7,743,000			827,497,000
2,398,000	142,000	2,540,000			61,117,000
954,000	0	954,000			19,518,000
0	22,000	22,000			77,686,000
0	0	0			82,730,000
0	0	0			295,439,000
0	0	0			152,023,000
0	0	0			72,803,000
46,000	261,000	307,000			27,935,000
5,115,000	0	5,115,000			5,115,000
3,000	0	3,000			13,622,000

科 目		公益目的事業会計		
		公1	公2	小計
		文化芸術の振興、地域 文化創造活動の支援 及び 教育普及に関する事業	市民活動の支援 及び 振興に関する事業	
	管理費			
	報酬			
	給料手当等			
	退職給付費用			
	通信運搬費			
	消耗経費			
	保険料			
	委託費			
	使用料及び賃借料			
	減価償却費			
	経常費用計	2,662,909,000	41,336,000	2,704,245,000
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 56,963,000	△ 31,000	△ 56,994,000
	他会計振替額	1,726,286	0	1,726,286
	法人税、都民税及び事業税	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 55,236,714	△ 31,000	△ 55,267,714
	一般正味財産期首残高	532,436,851	△ 6,912,640	525,524,211
	一般正味財産期末残高	477,200,137	△ 6,943,640	470,256,497
II	指定正味財産の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III	正味財産期末残高	477,200,137	△ 6,943,640	470,256,497

(単位:円)

収益事業等会計			法人会計	内部取引等 消去	合計
収1	収2	小計			
物品販売事業	飲食物提供事業				
			16,666,000		16,666,000
			13,023,000		13,023,000
			2,087,000		2,087,000
			671,000		671,000
			50,000		50,000
			11,000		11,000
			30,000		30,000
			270,000		270,000
			18,000		18,000
			506,000		506,000
19,028,000	6,760,000	25,788,000	16,666,000		2,746,699,000
803,000	2,807,000	3,610,000	△ 335,000		△ 53,719,000
△ 383,926	△ 1,342,360	△ 1,726,286	0		0
125,722	439,392	565,114	0		565,114
293,352	1,025,248	1,318,600	△ 335,000		△ 54,284,114
119,675,320	12,396,901	132,072,221	3,967,287		661,563,719
119,968,672	13,422,149	133,390,821	3,632,287		607,279,605
0	0	0	0		0
0	0	0	800,000,000		800,000,000
0	0	0	800,000,000		800,000,000
119,968,672	13,422,149	133,390,821	803,632,287		1,407,279,605

その他の付属書類

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

借入の予定		あり	○	なし
事業番号	借入先	金額	使途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		あり	○	なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途	

令和3年3月31日発行

公益財団法人 せたがや文化財団

世田谷区太子堂4-1-1 キャロットタワー5F

TEL 03(5432)1501 FAX 03(5432)1559

URL <https://www.setagaya-bunka.jp/>